

令和6年度
調布市緑の基本計画年次報告書



調布市

目次

1	調布市緑の基本計画の概要	1
(1)	計画策定の背景（計画の目的）	1
(2)	計画期間	1
(3)	将来像と基本目標	1
2	緑行政に関する主な動き	4
(1)	緑の保全	4
(2)	公園・緑地等の整備	4
(3)	グリーンインフラの取組の推進	4
3	施策の進捗状況	6
	施策方針1	7
	施策方針2	11
	施策方針3	18
	施策方針4	36
	施策方針5	42
	施策方針6	54



1 調布市緑の基本計画の概要

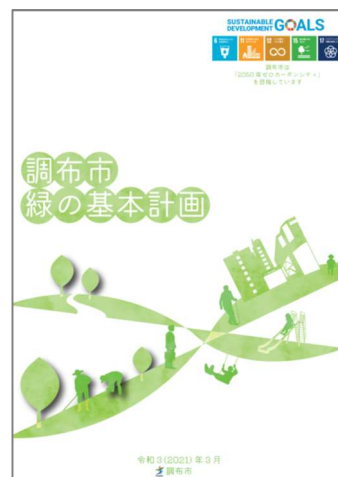
(1) 計画策定の背景（計画の目的）

調布市緑の基本計画（以下、「本計画」）は、都市緑地法に基づく緑全般に関する幅広い総合的な計画であり、緑施策の指針となるものです。目指す緑の将来像・基本目標を示し施策方針、主な施策、推進体制、進行管理のあり方等を示した計画です。

(2) 計画期間

本計画は、令和3年度から令和22年度の20年間を計画期間とします。

なお、社会・経済情勢の変化や緑を取り巻く状況に変化が生じることも想定されるため、必要に応じて計画の見直しを行います。



令和3年度

計画期間

令和22年度

(3) 将来像と基本目標

調布らしい緑環境を守り、創りだし、市民が安心して住み続けることができるまちを形成するため、人が緑を育て、緑が人を守る共助関係を構築することが必要です。本計画は、本市の緑の特徴を最大限活かし、緑の将来像として、調布らしいぬくもりのある緑や水を、世代を超えて守り育てることを目指します。

緑の将来像

ひと・みず・みどりが調和するまち 調布

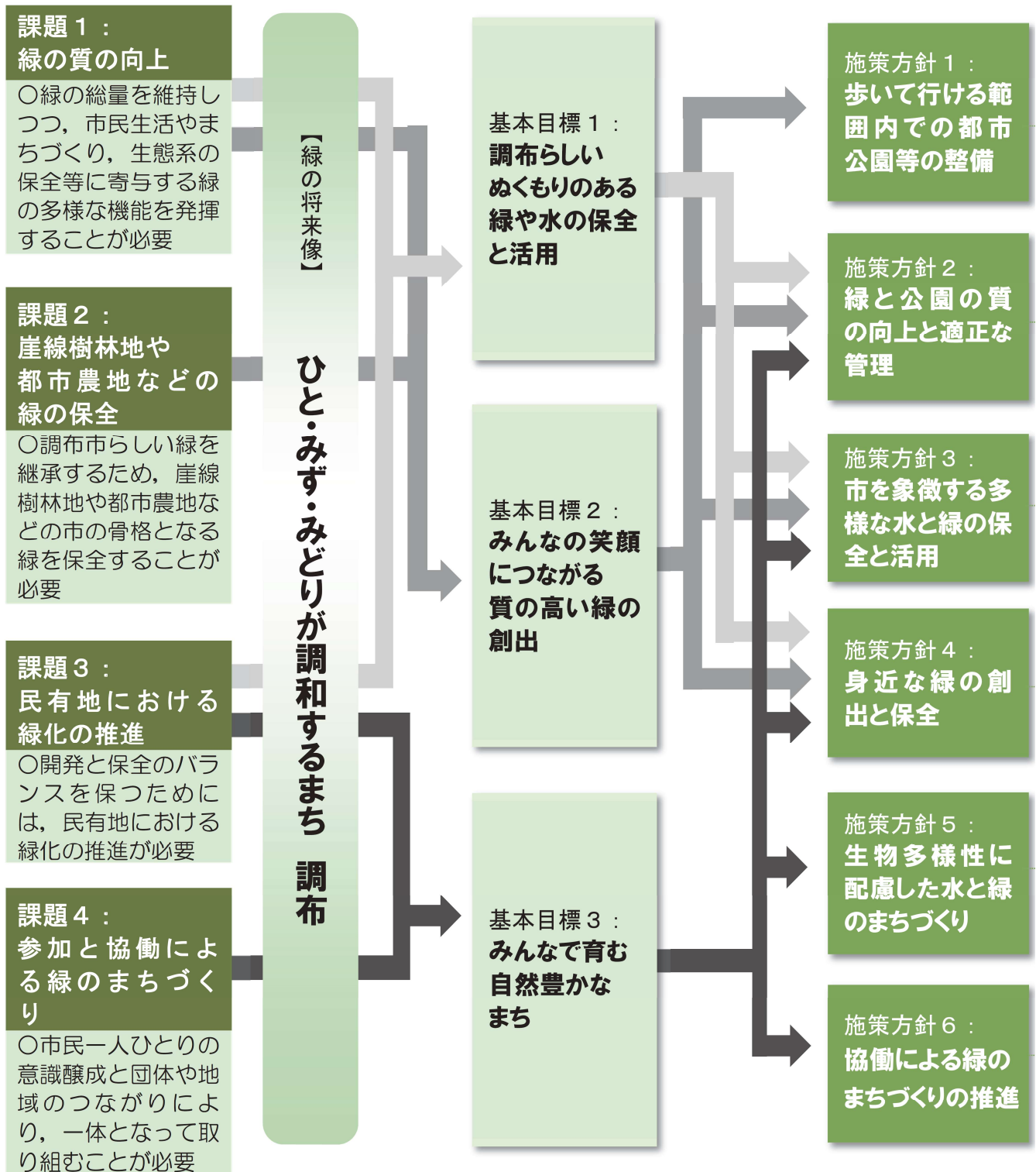
将来像の実現のためには、市民ニーズの充足や地域課題等の解決に資する質の高い緑の創出、市民が安心感を得られるような緑や水の質の維持、持続的な緑のまちづくりの推進等が必要になります。

基本目標

基本目標1 調布らしいぬくもりのある緑や水の保全と活用

基本目標2 みんなの笑顔につながる質の高い緑の創出

基本目標3 みんなで育む自然豊かなまち



施 策

関連する
SDGs



1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進	
1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進	
2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理	
2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全	
2-(3) 公園・緑地等の利用の適正化	
3-(1) 民有地の緑化促進	
3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用	
3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用	
3-(4) 川辺の保全と活用	
3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用	
4-(1) 公共施設の緑化推進	
4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成	
4-(3) 身近な樹木・植栽の保全	
5-(1) 水と緑のネットワークの形成	
5-(2) 生態系の保全と再生	
5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成	
6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進	
6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり	

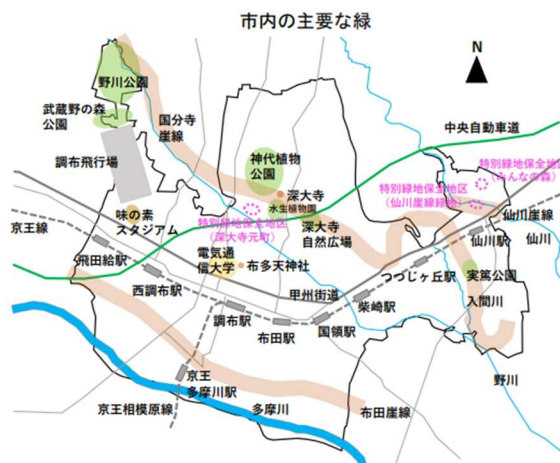
2 緑行政に関する主な動き

(1) 緑の保全

都は、平成29年に「都市づくりのグランドデザイン」を公表し、2040年代の目指すべき姿とその実現のため、東京の今ある緑・農地を守ることや、生物多様性にも配慮した自然環境の保全・再生・活用などを方針に含め、「個性」に着目した地域づくりを展開することとしました。

これを受け、区市町村と連携して取組を進めるため、令和元年に「東京が新たに進める緑の取組」、令和2年に「緑確保の総合的な指針」を改定しました。令和6年には「2050東京戦略」を策定し、「東京グリーンビズ」を推進しています。

市は、市が有する個性豊かな崖線樹林地について、それぞれの保全管理計画を策定し、貴重な自然環境を保全・管理する取組を進めています。



(2) 公園・緑地等の整備

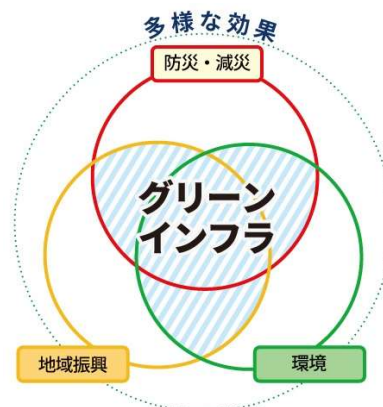
公園や緑地等のオープンスペースは、良好な景観や環境、市民の憩いの場として欠かせないものであり、災害時の避難地としての役割も担っています。都市緑地の多様な機能を発揮するよう、緑地の質・量両面での確保、再生可能エネルギーの導入やエネルギーの効率的利用等を進めるため都市緑地法等が改正されました（令和6年5月交付）。

市は、公園緑地の適正な整備を行うとともに、平成29年策定の「調布市公園・緑地機能再編整備プラン（案）」に基づき、機能再編整備を優先する3区域（多摩川市民広場周辺、凸凹山児童公園・若宮自然広場周辺、八雲台公園周辺）を選定しました。令和6年度現在、八雲台公園周辺実施区域機能再編整備プランの策定に取り組んでいます。

(3) グリーンインフラの取組の推進

グリーンインフラとは、自然環境に配慮しつつ、その機能を地域課題解決に活用する取組のことを意味し、地域の自然環境を防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供などに活かす取組により、持続可能な自然共生社会への貢献が期待されます。都は、「東京都豪雨対策基本方針」（令和5年12月）において、雨水流出抑制に資するグリーンインフラ等の推進を位置づけています。

市では、自然の力を活用した技術であり、浸水被害対策に効果的であるとされる雨水浸透施設の設置を推進する取組や、崖線樹林地などの豊かな生物多様性をはぐくむ空間を確保し、生物の生息状況を把握する取組などを進めています。



出典 国土交通省

年度	調布市の動き	◎世界の動き ●国の動き ▶東京都の動き
平成 25 年度	「調布市景観計画」策定 「調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」策定 「調布市地域防災計画」修正	
平成 26 年度	「調布市都市計画マスタープラン」改定 「調布市景観形成ガイドライン（色彩編）」作成	●「水循環基本法」制定 ▶「パークマネジメントマスタープラン」改定
平成 27 年度	「調布市公園・緑地機能再編指針」策定 「調布市崖線樹林地の保全管理計画（若葉町・入間町）」策定 「調布市地域防災計画」修正	●「都市農業振興基本法」施行 ◎国連持続可能な開発サミット開催（「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」採択） ▶「緑確保の総合的な方針」確保地等の追加
平成 28 年度	「調布市崖線樹林地の保全管理計画（仙川崖線緑地）」策定 「調布市崖線樹林地の保全管理計画（布田崖線）」策定 「調布市森林整備計画」変更 「調布市公共施設等総合管理計画」策定	●「都市農業振興基本計画」閣議決定 ●「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方」検討会最終とりまとめ公表
平成 29 年度	「調布市景観形成ガイドライン（屋外広告物編）」作成 「調布市公園・緑地機能再編整備プラン（案）」作成	●「都市緑地法等の一部を改正する法律」施行 ▶「都市づくりのランドデザイン」策定
平成 30 年度	「調布市崖線樹林地保全管理計画（国分寺崖線 入間町 2丁目緑地）」策定 「調布市景観形成ガイドライン（身近な景観づくり編）」作成 「調布市地域防災計画」修正	●「生物多様性に配慮した みどりの基本計画策定の手引き」作成 ●「特定生産緑地制度」施行 ▶「東京都景観計画」改定 ●「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」制定
令和元年度	「調布市農業振興計画」策定 「調布市崖線樹林地保全管理計画（深大寺自然広場）」策定 「調布市景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）」作成	▶「東京が新たに進める緑の取組」公表 ●「グリーンインフラ推進戦略」策定 ▶「『未来の東京』戦略ビジョン」策定
令和 2 年度	「調布市緑の基本計画」策定 「調布市環境基本計画」改定 「史跡下布田遺跡整備基本計画」策定	▶「都市計画公園・緑地の整備方針」改定 ▶「緑確保の総合的な方針」改定 ●「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」（論点整理）発表 ▶「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針」改定 ▶「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」公表 ▶「『未来の東京』戦略」策定
令和 3 年度	「調布市地域防災計画」修正 「調布市崖線樹林地保全管理計画（みんなの森）」策定	◎G7 サミット開催「30by30 目標」約束 ▶「『未来の東京』戦略 version up 2022」策定
令和 4 年度		◎「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」採択 ▶「『未来の東京』戦略 version up 2023」策定 ●「生物多様性国家戦略 2023-2030」閣議決定 ◎「IPCC 第 6 次評価報告書統合報告書」公表
令和 5 年度	「調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」策定	●「グリーンインフラ推進戦略 2023」策定 ●「グリーンインフラ実践ガイド」作成 ▶「東京都生物多様性地域戦略」改定 ▶「『未来の東京』戦略 version up 2024」策定
令和 6 年度	「みどり率調査」を実施 「調布市崖線樹林地の保全管理計画（深大寺元町特別緑地保全地区）」策定 「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」策定 「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」参加 「調布市地域防災計画」修正	●「都市緑地法等の一部を改正する法律」施行 ●「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」制定 ●「第六次環境基本計画」閣議決定 ▶「2050 東京戦略」策定
令和 7 年度	「調布市環境基本計画」（策定予定）	

3 施策の進捗状況

施策の進捗状況の見方

施策方針1 歩いて行ける範囲内での都市公園等の整備

施策1－(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進

公園・緑地が不足している地域や借地公園のみによって誘致圏に入っている地域については、都市計画公園や民間開発に伴う提供公園・緑地等により、誘致圏の創出・維持を図ります。

また、公園については「遊び」「健康づくり」「スポーツ」「休養」「自然とのふれあい」等の機能がある中で、同様の機能を持つ公園等が集中している地域については、利用状況や地域のニーズを踏まえながら、施設更新の機会を捉えて部分的、全面的な改修による機能転換を実施し、多様なニーズへの対応を図ります。

市が掲げる緑の将来像を実現するための施策の進め方を掲載しています。

施策指標の進捗状況を掲載しています。

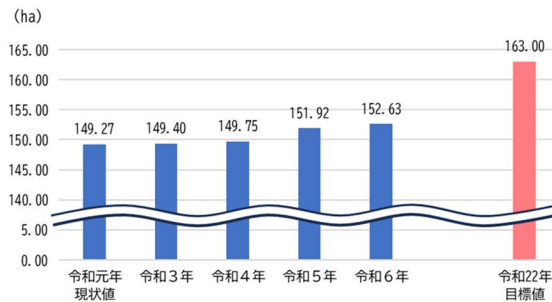
■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公共が保全する緑の面積	令和元年 149.27ha	令和22年 163ha	152.63ha	↑
市域に対する公園誘致圏のカバー率	令和元年 94.5%	令和22年 95%	94.5%	→
公園や遊び場に対する満足度	令和元年 65.2%	令和22年 70%	64.1%	↓

【凡例】↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、—：計測・活動がなく評価ができない

進捗状況の項目には、実績値の指標の目標値に対する結果を示していますが、凡例は表の下に記載されています。

実績のある施策の指標について、基準値と目標値及び実績値の推移をグラフで表しています。



公共が保全する緑の面積の推移と目標

令和6年度の振り返り

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 公共が保全する緑の面積の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区です。令和6年度は令和5年よりも面積が0.71ha増加しています。 市域に対する公園誘致圏のカバー率は、借地公園で、やまびこ仲よし広場は廃園しましたが、公園誘致圏のカバー率は現状維持しています。 公園や遊び場に対する満足度は、調布市民意識調査の結果によると、令和5年度よりも0.2ポイント下落しています。 	◎

施策指標の実績に対する総評を記載しています。

【評価】指標の進捗と振り返りを踏まえ、以下の3つで評価します。

◎ ————

- ・計画どおり（計画以上）に目標を達成した。
- ・予定した取組成果が得られた。

○ ————

- ・おおむね計画どおりに目標を達成した。
- ・一定の取組成果が得られた。

△ ————

- ・目標達成までには至らなかった。
- ・予定した取組成果が得られなかった。

■ 令和6年度の主な取組

取組1－(1)－① 公園不足地域への対応

▶ 公園緑地の整備と公有化の推進（緑と公園課）

事業実績	事業計画に基づき用地取得を実施しました。
	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事：0件 用地取得：1箇所

各施策方針で設定している具体的な取組について、実績のあるものに関して掲載しています。

施策1－(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進

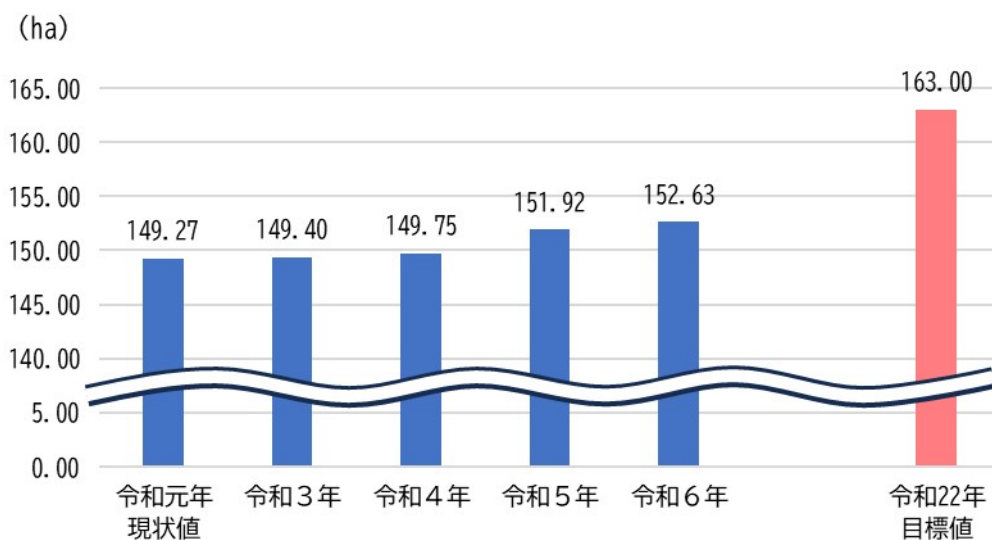
公園・緑地が不足している地域や借地公園のみによって誘致圏に入っている地域については、都市計画公園や民間開発に伴う提供公園・緑地等により、誘致圏の創出・維持を図ります。

また、公園については「遊び」「健康づくり」「スポーツ」「休養」「自然とのふれあい」等の機能がある中で、同様の機能を持つ公園等が集中している地域については、利用状況や地域のニーズを踏まえながら、施設更新の機会を捉えて部分的、全面的な改修による機能転換を実施し、多様なニーズへの対応を図ります。

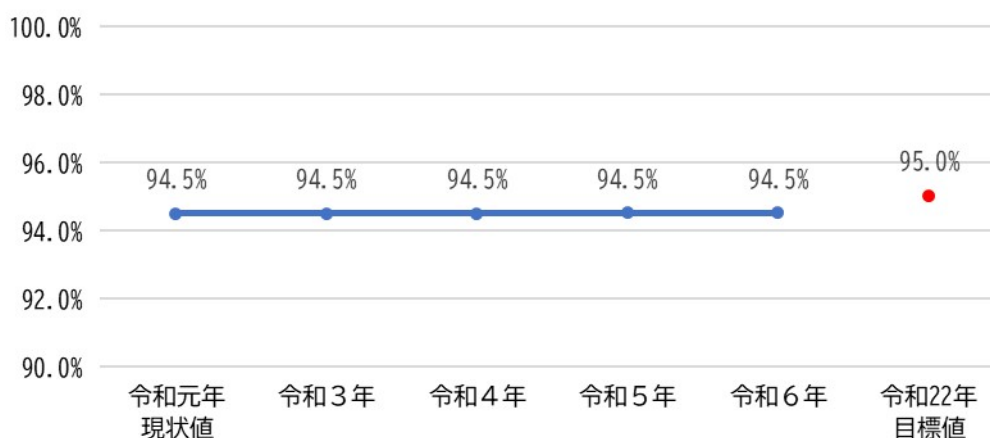
■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公共が保全する緑の面積	令和元年 149.27ha	令和22年 163ha	152.63ha	↑
市域に対する公園誘致圏のカバー率	令和元年 94.5%	令和22年 95%	94.5%	→
公園や遊び場に対する満足度	令和元年 65.2%	令和22年 70%	64.1%	↓

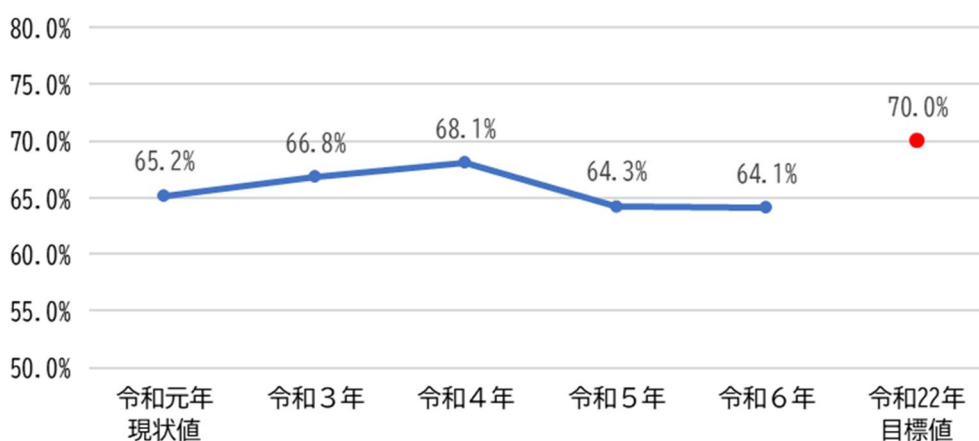
【凡例】↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、－：計測・活動がなく評価ができない



公共が保全する緑の面積の推移と目標



市域に対する公園誘致圏のカバレッジ率の推移と目標



公園や遊び場に対する満足度の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共が保全する緑の面積の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区です。令和6年度は令和5年よりも面積が0.71ha増加しています。 ● 市域に対する公園誘致圏のカバレッジ率は、借地公園で、やまびこ仲よし広場は廃園しましたが、公園誘致圏のカバレッジ率は現状維持しています。 ● 公園や遊び場に対する満足度は、調布市民意識調査の結果によると、令和5年度よりも0.2ポイント下落しています。 	◎

令和6年度の主な取組

取組1-(1)-① 公園不足地域への対応

公園緑地の整備と公有化の推進（緑と公園課）


事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業計画に基づき用地取得を実施しました。 ☞ 整備工事：0件 ☞ 用地取得：1箇所
------	---

調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例や開発事業指導要綱に基づく緑化の推進（緑と公園課 まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づく緑化指導を実施しました。 ☞ 緑化の推進件数：34件（緑と公園課） ☞ 協定締結件数：31件（まちづくり推進課）
------	---

取組1-(1)-② 地域特性やニーズを踏まえた公園・緑地の整備

調布市公園・緑地機能再編指針に基づく既存の公園機能再編の推進（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 機能再編プラン(案)に基づき、凸凹山児童公園の改修（舗装とベンチ）若宮自然広場の基本設計を実施しました。 	
		<p>凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺区域機能再編整備プラン</p>

暑熱対策の推進（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 近年の温暖化による夏場の異常な気温上昇への対策として、パーゴラへのよしずの設置や公園内に遊具が熱くなる旨の注意喚起看板を設置しました。 		
	<p>パーゴラへよしずの設置</p>	<p>注意喚起看板</p>	

施策1－(2) 市民参加による公園整備・管理の推進

公園の適切な活用と質の向上のために、公園整備の構想・計画段階から地域のニーズを汲み取り、ニーズに合わせた整備を推進します。また、公園面積の増加に伴い、維持管理が課題となるため、協働による公園の維持・管理を推進します。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公園に関するワークショップの参加者満足度	令和元年 —	令和22年 70%	—	—

【凡例】↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、—：計測・活動がなく評価ができない

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 機能編成プランに基づき、市民との意見交換やアンケート調査を実施し、整備プランを策定しました。 ● 整備プラン策定に向けた意見交換会やアンケート調査では「公園に関するワークショップの参加者満足度」のアンケートは実施しませんでした。 	○

コラム 市内でのナラ枯れの発生

ナラ枯れとは、ナラ菌と、これを媒介するカシノナガキクイムシによる樹木の伝染病です。人体やほかの動物に影響はありません。

一本の木に大量のカシノナガキクイムシが穿入することにより被害が発生することから、被害木の特徴としては、幹に約1ミリから2ミリメートルの穴がたくさん空いており、木の根元にフラスと呼ばれる木くずが大量に堆積します。また、梅雨明け後から晩夏の時期にかけて、葉が赤褐色に変色して急に枯れ、落葉しないのが特徴です。

市では被害拡大を防ぐため、公園や樹林地などの被害木に対しては伐採・消毒などの処理を実施し、随時被害木の調査を行っています。

また、ナラ枯れが発生した樹林地では、カエントケと呼ばれる猛毒のキノコが発生しやすいことが報告されています。調布市内では発見されておりましたが、触れるだけでも危険なキノコですので、絶対に触らないでください。



消毒したナラ枯れ木の写真



カエントケの写真

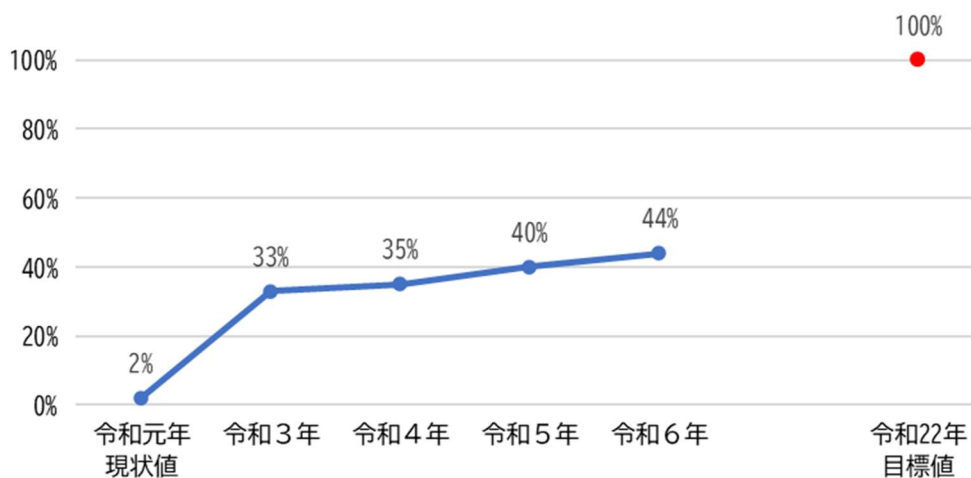
施策2－（1）公園・緑地等の計画的な管理

調布市公園施設長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストを考慮しながら、優先度の高いものから補修・更新を実施します。都市公園の遊具に関しては社会資本整備総合交付金等も活用しながら、更新を行います。また、緑地等の樹木の太径木化、老齢化について、安全面に配慮した適正な管理を行います。これらの管理に向けて、市民や事業者と連携したパークマネージメントの検討を行っていきます。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公園施設長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合	令和元年 2%	令和22年 100%	44%	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない



公園施設長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、市内 681 基の遊戯施設のうち、これまでに 301 基（44%）の更新を実施しました。 	◎

令和6年度の主な取組




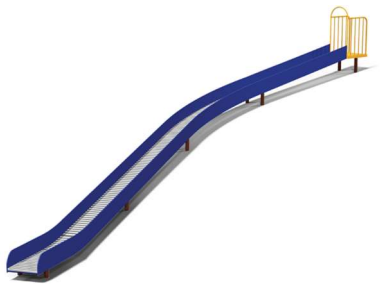
取組2-(1)-① 公園施設の計画的な日常点検、定期点検の実施

▶ 公園施設の長寿命化に向けた計画的な日常点検、定期点検の実施（緑と公園課）

事業実績	◆ 職員によるパトロール等で公園施設の日常点検や定期点検を適宜実施しました。
------	--

取組2-(1)-② 公園施設の予防保全と事後保全

▶ 公園施設長寿命化計画に基づく更新工事（緑と公園課）

事業実績	<p>◆ 公園施設長寿命化計画に基づき、22公園29基について遊戯施設の更新を実施しました。</p> <p>☞ 下布田公園，八雲台公園，とりで公園，くすのき第2児童遊園，天神北公園，南ヶ丘児童遊園，恐竜児童遊園，布田6丁目児童遊園，サレジオ児童遊園，上ノ原公園，柴崎2丁目第3公園，調布ヶ丘3丁目公園，西つつじヶ丘児童遊園，みなみの公園，ぬの多児童遊園，富士見公園，山野公園，調布台児童遊園，ひなた児童遊園，八反田児童遊園，大げやき公園，細田橋児童遊園，国領児童遊園</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>サレジオ公園遊具施設（更新前）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遊具施設（更新後）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>とりで公園遊具施設（更新前）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遊具施設（更新後）</p> </div> </div>

取組2-(1)-③ 公園・緑地の樹木の適切な維持管理

▶ 樹木等の管理計画を策定し、計画に基づいた適正な維持管理の実施（緑と公園課）

事業実績	◆ 年間管理として26公園の樹木管理を実施しました。また、これ以外に枯木の対応など124件の移植・せん定を実施しました。
------	--

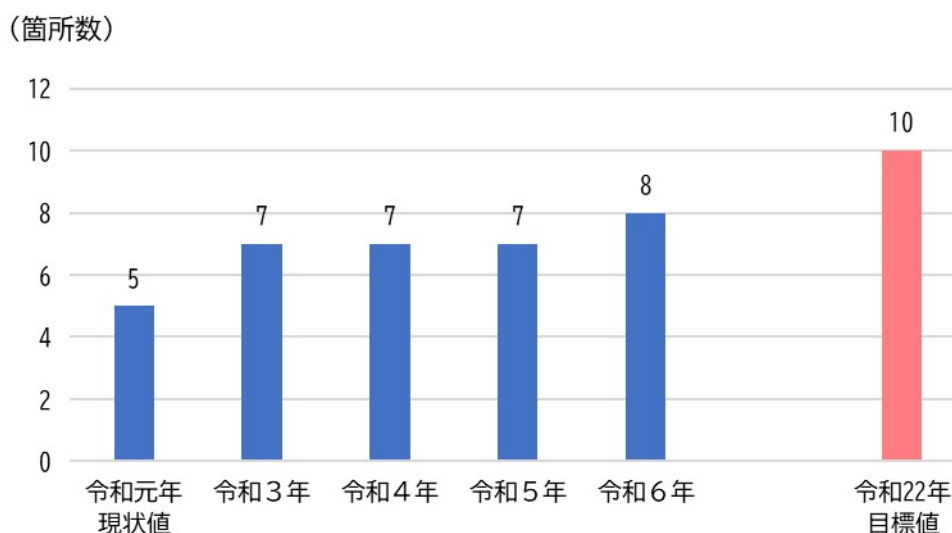
施策2－（2）防災性を高める身近な緑の確保

地震・火災等の災害に加え、大雨や猛暑日など（極端現象）を起因とする都市型災害リスクの高まりを受け、グリーンインフラとしての公園・緑地の機能の強化を図ります。また、公園・緑地だけでなく、農地も含めて防災機能の整備と活用を図り、総合的に都市防災機能の向上を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数	令和元年 5箇所	令和22年 10箇所	8箇所	↑
避難場所や避難路を示す案内版を設置した公園数	令和元年 0箇所	令和22年 39箇所	0箇所	—

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない



市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民団体との協働による保全活動を8箇所で行いました。ボランティア保険への加入，安全講習会の実施，活動に必要な消耗品の提供を行いました。 ● 令和6年度，公園に避難場所や避難路を示す案内板の設置はありませんでした。 	◎

■ 令和6年度の主な取組

取組2-(2)-① 火災・延焼の危険性が高い地域におけるオープンスペースとしての緑の保全

▶ オープンスペースとしての公園・緑地，農地等の保全・公有地化の検討（緑と公園課）

事業実績

- ◆ オープンスペースとしての緑の保全について，相談があった場合など，個別に緑の保全・公有地化の検討を実施しました。

取組2-(2)-② 土砂災害警戒区域や急傾斜崩壊危険箇所周辺の緑の保全

▶ 土砂災害警戒区域や急傾斜崩壊危険箇所周辺の緑地の保全の検討（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 深大寺自然広場，実篤公園の予備設計，40箇所のような壁調査を行いました。

▶ 市民参加による崖線や緑地の整備・管理（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 市民ボランティア（8団体）と協働で崖線樹林地保全活動を行いました。

取組2-(2)-③ 公園における防災機能の向上

▶ 避難場所や避難路を示す案内板の充実（緑と公園課 総合防災安全課）

事業実績

- ◆ 順次案内板の更新を実施予定です。

取組2-(2)-④ 農地の防災機能の活用

▶ 「災害時協力井戸」登録の推進（総合防災安全課）

事業実績

- ◆ 令和6年度の新規登録を含めて，市内で47件の井戸を災害時協力井戸として登録しています。

▶ 「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」を活用した防災兼用農業用井戸の設置等防災機能の強化・拡充（農政課）

事業実績	◆ 「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」を活用し、農業用井戸（災害時協力井戸に登録）の設置を促進しました。 📍 農業用井戸の設置：1箇所（令和6年度の新規設置）
------	--

コラム 災害時協力井戸

大きな災害が起こると、水道水が断水し、市民の生活用水の確保が難しくなることが想定されます。

市では、災害発生時に市民の生活用水（トイレや掃除等のための水）をできる限り確保することを目的に、市内で井戸を所有・管理している方のご協力を得て、災害時協力井戸の登録制度を実施しています。災害時に、できる限り近隣の住民等に井戸水を提供します。

また、登録された災害時協力井戸は、毎年1回水質検査を行っています。

災害時協力井戸への登録方法及び登録されている井戸は、市のホームページで確認することができます。なお、これらの井戸は飲用には適しません。

<https://www.city.chofu.lg.jp/020090/p013118.html>

コラム 公園・緑地の防災機能

いつも市民の憩いの場として活用されている公園・緑地は、災害が起こったときも多くの効果的な機能を持つといわれ、注目されています。

- 地震発生時等、火災の延焼を防ぎます。
- 大雨による河川増水時、湛水の場として働き洪水被害を軽減します。
- 避難路・避難場所になります。
- 復旧・復興活動の支援拠点となります。

市は、これらの機能を活かし地域特性に応じた防災都市づくりを行っています。

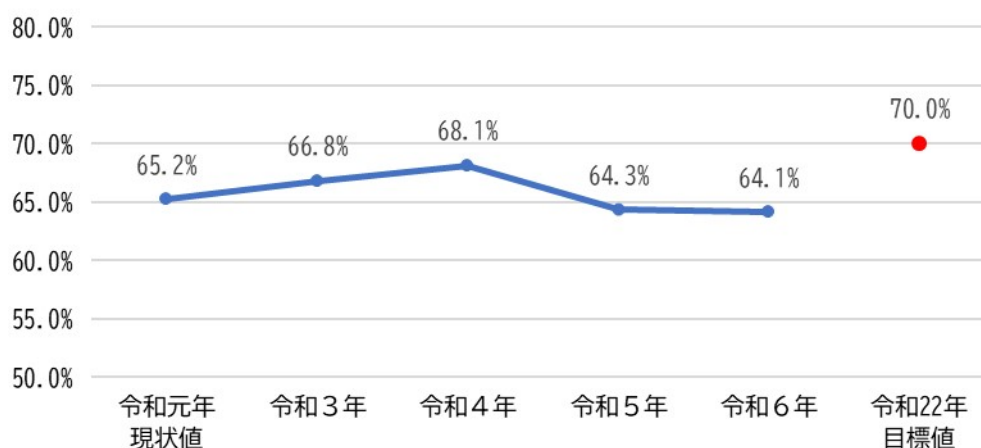
施策2－（3）公園・緑地等の利用の適正化

誰もが安全で快適に公園・緑地を利用できるようにルールを定めるとともに、普及啓発と情報共有により、協働で緑の適正な利活用を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公園や遊び場に対する満足度【再掲】	令和元年 65.2%	令和22年 70%	64.1%	↓

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない



公園や遊び場に対する満足度の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 公園や遊び場に対する満足度は、調布市民意識調査の結果によると、令和5年度よりも0.2ポイント下落しています。 	△

令和6年度の主な取組

取組2-(3)-① 公園・緑地の適正な利活用の推進

公園・緑地利用のルール・マナーの啓発（緑と公園課）

◆ 要望等に基づき、ルール・マナー看板を設置しました。

事業実績

ルール・マナー看板

地域における景観意識の醸成・担い手育成（まちづくり推進課）

◆ 「協働による身近な景観まちづくり」をテーマに調査・検討を実施、景観だよりで調査内容の発表を行いました。

- 調布市景観まちづくり市民検討会：4回
- ちょうふ景観だより発行：63号～66号

事業実績

小学校区南エリアの身近な景観まちづくりについて紹介した
ちょうふ景観だより 第66号

コラム ちょうふ景観だより

市では、「調布市景観条例」や「調布市景観計画」に基づき、市民の皆さんとともに、調布らしい景観の魅力を発見、共有し、育んでいく「景観まちづくり」を目指しています。

その一つとして、市民の参加と協働による景観まちづくりの取組として、「景観まちづくり市民検討会」を設置しています。その活動内容等を市民の皆さんにお知らせするため「ちょうふ景観だより」を発行しています。

【調布市ホームページ ちょうふ景観だより】

<https://www.city.chofu.lg.jp/080040/p044062.html>

施策3－（1）民有地の緑化促進

「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」（平成16年）に基づく開発事業指導要綱に則る行政指導や、地区計画の策定の際の協議会等における意識啓発等で、民間開発の際の緑化や緑地等の創出を推進します。合わせて「調布市景観計画」（平成26年）等に沿って、緑化等に対する啓発を進めていきます。

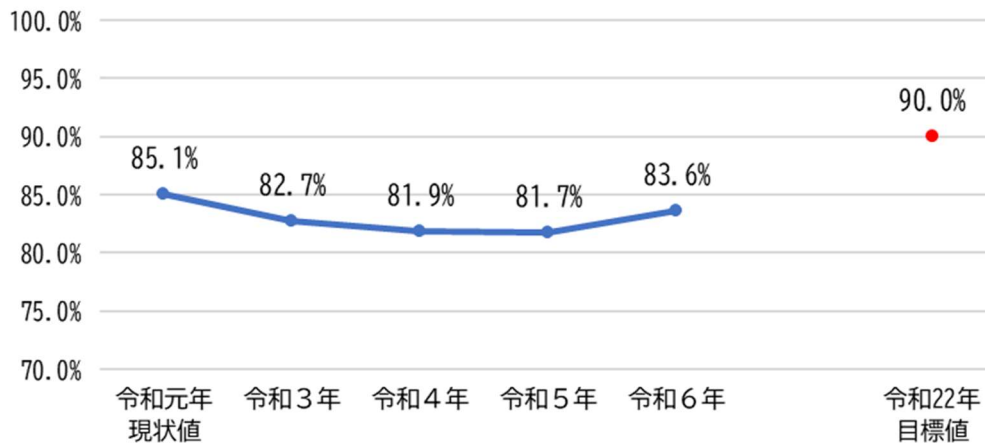
また、「調布市自然環境の保全等に関する条例」（平成8年）に基づく保全地区の指定の維持を図ります。このほか、緑化地域制度・地区計画等緑化率条例制度、特別緑地保全地区制度等の地域制緑地制度の活用を検討します。

■ 施策の指標

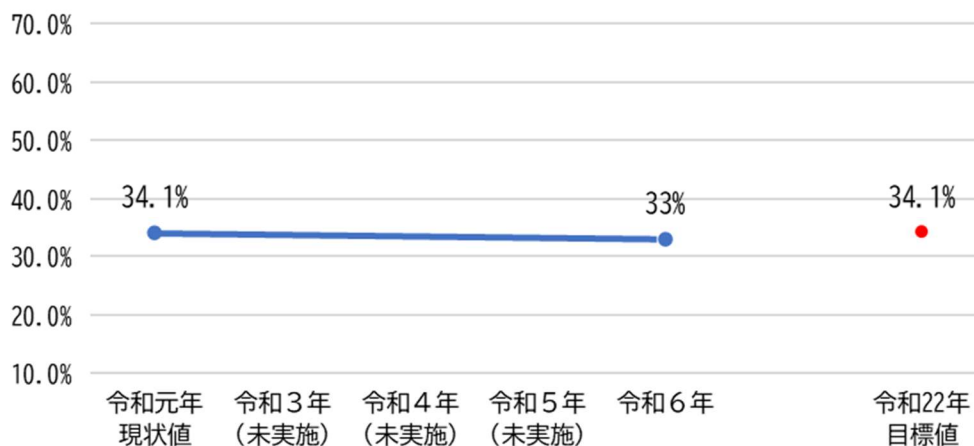
指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
調布には優れた景観があると思う市民の割合	令和元年 85.1%	令和22年 90%	83.6%	↑
みどり率	令和元年 34.1%	令和22年 34.1%	33.0%	↓

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない

※みどり率の調査は概ね5年に1度実施

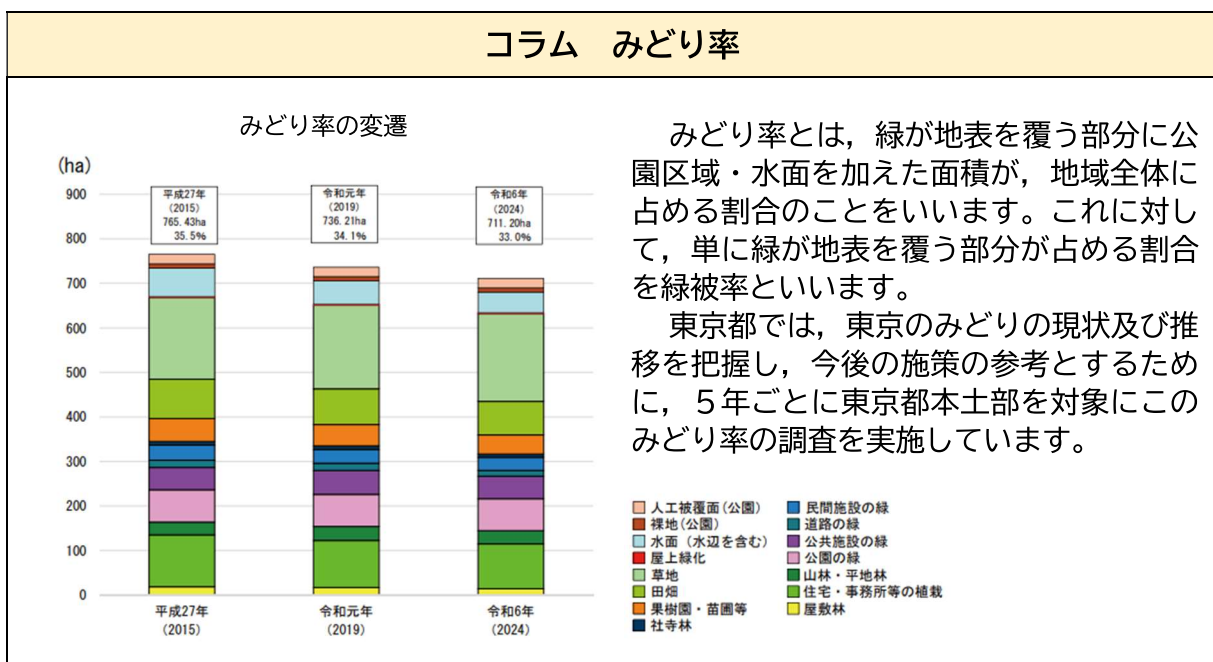


調布市には優れた景観があると思う市民の割合の推移と目標



みどり率の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画や景観条例に基づき、建築・開発行為等に対する届出審査を通じて、良好な景観形成に向けた規制誘導を行いました。 ● 調布市には優れた景観があると思う市民の割合は、調布市民意識調査の結果によると、令和6年度は令和5年度から1.9ポイント上昇しています。 ● 市内の緑の現況と推移を把握するため、約5年ごとにみどり率調査を実施しており、令和6年度に本調査を実施しました。 ● みどり率は、令和元年度の34.1%から令和6年度に33.0%と1.1ポイント下降しています。 	○



令和6年度の主な取組

取組3-(1)-② 地区計画による緑化の推進

- ▶ 市民参加による地区計画策定等，良好な街並み形成に向けた活動の支援
(まちづくり推進課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 都市計画法に基づく地区計画制度を活用し，緑地等の地区施設の指定を行っていくことで，地区における緑の創出を図るため，地区の特性に応じた検討を進めました。
------	---

- ▶ 市民参加による環境に配慮したまちづくりに向けた地区計画等の検討の支援
(まちづくり推進課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 都市計画法に基づく地区計画制度を活用し，緑地等の地区施設の指定を行っていくことで，地区における緑の創出を図るため，各地区の特性に応じた検討を進めました。
------	--

取組3-(1)-③ 調布市景観計画等による緑化の推進

- ▶ 景観法や調布市景観条例，調布市景観計画等に基づく景観まちづくりの推進
(まちづくり推進課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調布市景観計画に定める景観形成方針や景観形成基準などを定め，一定規模以上の建築物の建築等を実施する際は，景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議を行い，必要に応じて助言・指導等を実施しました。 ☞ 景観法に基づく届出及び通知 32件（届出26件，通知6件） ☞ 景観法に基づく完了届の受理 38件
------	---

- ▶ 【再掲】地域における景観意識の醸成・担い手育成（まちづくり推進課） P17参照

取組3-(1)-④ 保全地区の維持

- ▶ 保全地区等に対する補助（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調布市自然環境の保全等に関する条例等に基づき，保存地区，保存樹木，保存生垣として指定し，所有者等に対して，維持管理に要する費用の一部を補助しました。 ☞ 保全地区への補助 17件 ☞ 保存生け垣への補助 89件 ☞ 保存樹木への補助 230件 ☞ 保存樹木等せん定補助 36件
------	--

施策3－（2）崖線・樹林地・湧水などの保全と活用

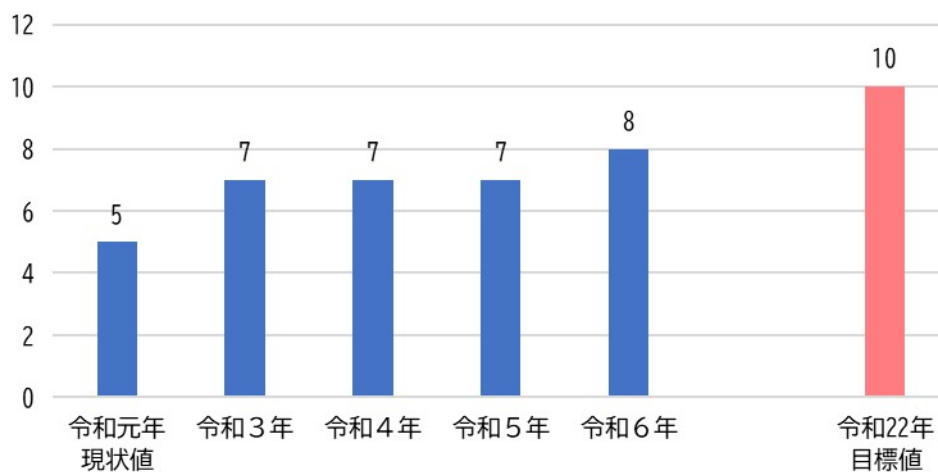
市の固有な緑であり、貴重な生態系を形成する崖線は、保全団体との協働のもと、崖線樹林地保全管理計画等にもとづき、保全を図ります。また、グリーンインフラとしての雨水浸透施設等の設置の推進により、地下水の涵養を図ります。崖線・湧水とそれがもたらした景観等を資源に、教育・文化等での活用を図ります。

■ 施策の指標

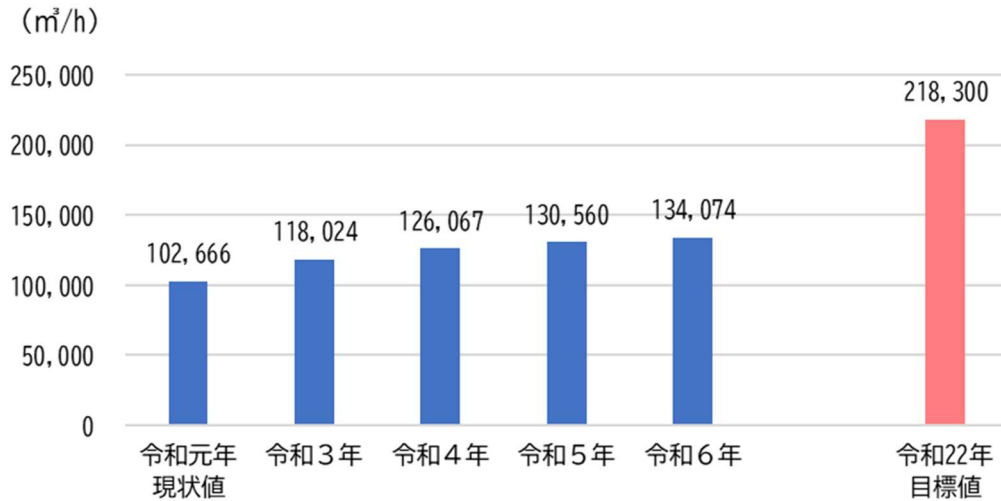
指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数【再掲】	令和元年 5箇所	令和22年 10箇所	8箇所	↑
浸透施設等の設置による雨水の浸透能力	令和元年 102,666 m ³ /h	令和22年 218,300 m ³ /h	134,074 m ³ /h	↑
湧水の箇所数（豊水期）	平成30(2018)年 29箇所	令和22年 29箇所	-	-

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， -：計測・活動がなく評価ができない

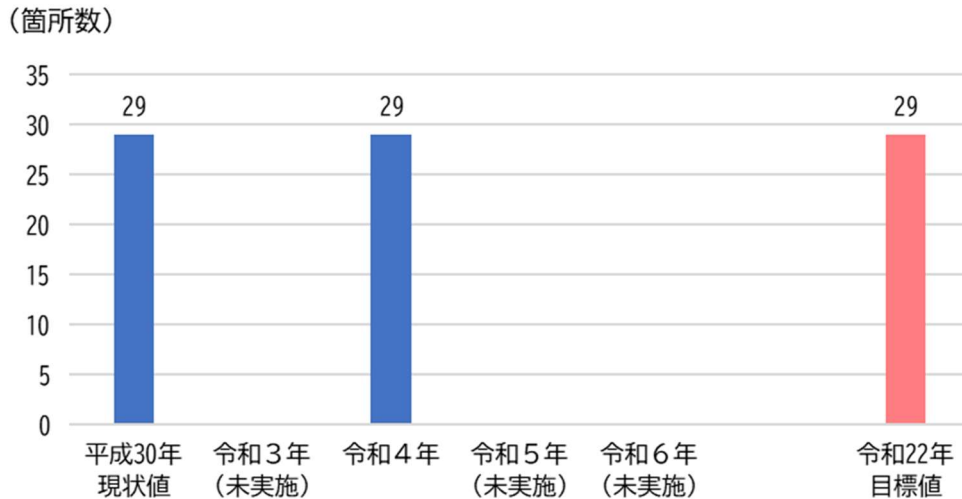
（箇所数）



【再掲】 市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数の推移と目標



浸透施設等の設置による雨水の浸透能力の推移と目標



湧水の箇所数（豊水期）の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民団体との協働による保全活動を8箇所で行いました。ボランティア保険への加入，安全講習会の実施，活動に必要な消耗品の提供を行いました。 ● 河川水源となる地下水の涵養を進めるため，公共施設における雨水浸透ます，浸透トレンチ等の設置を行いました。また，民間施設においても雨水浸透施設等の設置を進めており，雨水の浸透能力は令和5年度より3,514 m³/hの増加となりました。 ● 湧水調査は概ね3年に1回調査を行っています（令和6年度は未実施）。 	◎

■ 令和6年度の主な取組

取組3-(2)-① 雨水浸透施設等の整備

▶ 雨水浸透施設・雨水貯留施設の設置及び雨水利用の推進 (下水道課 環境政策課 営繕課 各施設の所管課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 排水設備計画確認申請時に、申請者に浸透設備の設置を依頼し、設備の設置を行いました。(下水道課) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 浸透ます 2, 562個 ☞ 浸透トレンチ 1, 099m ◆ 既存の一般家屋への雨水浸透ますの設置を実施しました。(環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 浸透ます5基 ◆ 公園トイレの改築に伴い、透水性舗装等を行いました。(営繕課) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 4件
------	--


▶ 透水性舗装による道路整備の推進 (道路管理課 まちづくり推進課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 歩道に透水性舗装を施工しました。(道路管理課) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 多摩川住宅商業施設棟周辺道路バリアフリー化工事700㎡ ◆ 道路整備を行う際は歩道に透水性舗装を採用しました。(まちづくり推進課) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 調布駅前広場整備工事3, 075㎡, 市道S104号線(旧南25-4号線)緑道の整備1, 186㎡, 市道S117号線(旧南199号線)緑道の整備1, 567㎡を施工しました。
------	---

▶ 湧水調査の実施 (環境政策課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 湧水調査は概ね3年に1回調査を行っています。令和4年度に実施したため、令和6年度は未実施です。
------	---

▶ 雨水浸透の重要性に関する普及啓発 (環境政策課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市報, ホームページで, 雨水浸透の重要性の啓発や雨水浸透ます設置について広報しました。 <p style="text-align: center;">雨水浸透ますの設置にご協力ください(チラシ)</p> <div style="text-align: right;">  </div>
------	--

取組3-(2)-② 崖線樹林地の保安全管理計画の策定や見直し

▶ 崖線樹林地の保安全管理計画の策定と見直し (緑と公園課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保全地区周辺に対してオープンハウスを実施し、深大寺元町特別緑地保全地区の保安全管理計画を策定しました。
------	---

取組3-(2)-③ 景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）の推進

▶ 景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）の推進（まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調布市景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）を開発・建設事業者へ配布し活用を図りました。 ☞ 国分寺崖線景観形成重点地区へ配布しました。 ☞ 開発行為：5件 ☞ 建築行為：6件（うち大規模修繕 5件）
------	---

取組3-(2)-④ 教育・文化資源としての崖線の活用

▶ 深大寺・佐須地域の公有地等における農業体験などの環境学習の推進（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公有地化した土地を活用し、市民及び公有地近隣の小学校の児童を対象に田植え体験、稲刈り等の農業体験をマインズ農業協同組合等との協働により実施しました。 ☞ 農業体験参加者数 合計1,120人 （市民768人・学校関係者 352人）
------	---

▶ 深大寺・佐須地域等における「農」の歴史や文化を活かした景観づくりの推進（緑と公園課 環境政策課 まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公有地化した土地を活用し、市民を対象とした体験型の環境学習や小学校児童への環境教育を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を、マインズ農業協同組合や教育委員会と連携し、推進しました。 ☞ 延べ参加人数2,130人 ◆ 令和6年7月1日に、深大寺・佐須地域北・南農業公園の供用を開始しました。農業公園イベントとして、市民参加の収穫体験を3回実施し、67人が参加しました。
------	---




体験型の環境学習実施の様子

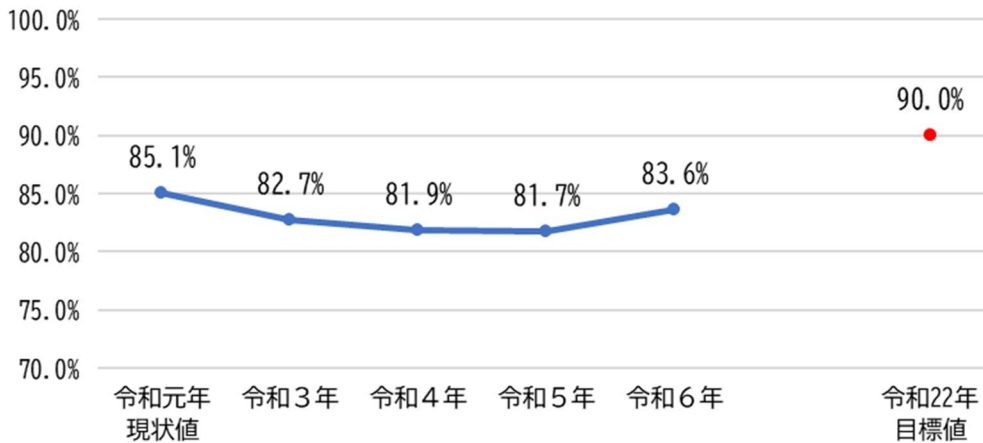
施策3－（3）歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用

布多天神社や深大寺，実篤公園，下布田遺跡等，歴史資源と一体となった樹林地や公園といった緑については，史跡や天然記念物等とあわせて保全を図ります。社寺林については所有者と行政が協力しながら，親しみのもてる歴史・文化とのふれあいの場としての活用を検討します。緑の歴史・文化性を高めることで，緑そのものの価値を高めていきます。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
調布には優れた景観があると思う市民の割合 【再掲】	令和元年 85.1%	令和22年 90%	83.6%	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない




【再掲】 調布には優れた景観があると思う市民の割合の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画や景観条例に基づき，建築・開発行為等に対する届出審査を通じて，良好な景観形成に向けた規制誘導を行いました。 ● 調布市には優れた景観があると思う市民の割合は，調布市民意識調査の結果によると，令和6年度は令和5年度から1.9ポイント上昇しています。 	○

■ 令和6年度の主な取組

取組3-(3)-① 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用

▶ 社寺林, 屋敷林等の保全のための支援 (緑と公園課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保存樹木に指定している箇所にせん定補助金を交付しました。 ☞ 交付箇所 8箇所39本 	 <p style="text-align: center;">社寺林</p>
------	---	--


▶ 指定文化財の適切な保全・管理 (郷土博物館)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文化財の適切な保全・管理のため, 文化財の指定や史跡地内の除草, 天然記念物の消毒・剪定等を行いました。 ☞ 有形文化財の指定 1件 ☞ 史跡地内の除草 延べ21箇所実施 ☞ 天然記念物の消毒・土壌改良 2回実施 ☞ ハチの巣の除去 0回実施
------	---

▶ 国指定史跡下布田遺跡・深大寺城跡の保全・整備・PR (郷土博物館)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国史跡下布田遺跡整備事業では, 実施設計に基づき, 第1期史跡整備工事を行いました。 ◆ 有識者や地域住民, 市職員で構成する検討会 (国史跡下布田遺跡保存活用整備検討委員会) を開催し, 追加の実施設計の審議・検討などを行いました。 ☞ 国史跡下布田遺跡保存活用整備検討委員会を開催: 3回 ☞ 下布田遺跡史跡整備市民説明会を開催: 2回 ☞ 下布田遺跡史跡整備市民ワークショップを開催: 8回 ☞ 下布田遺跡発掘現場見学 (6月14日) ☞ ヤギのふれあい環境学習: 3回 ☞ ヤギふれあい体験: 2回 ☞ 北多摩縄文スタンプラリー (7月20日~1月31日) ☞ 布田小学校の総合学習: 3回 ☞ 深大寺城跡文化財見学会の開催 (10月14日) ☞ 観光協会ボランティアガイド研修会への講師派遣 (8月19日)
------	---

▶ 深大寺水車館の展示・普及事業の開催（郷土博物館）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 深大寺周辺の文化や自然とのふれあいを深めるため、深大寺水車館で展示・普及事業を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 開館日数 309日 ☞ 利用者数 29,810人 ◆ 展示回廊で、水車の歴史や武蔵野台地の暮らしに関連する資料の公開を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 展示事業 1件（通年） ◆ 水車施設を使用する普及事業を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 教育普及事業 2件 	
------	--	--

深大寺水車館

▶ 実篤公園の保全・管理（緑と公園課 郷土博物館）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実篤公園の保全・整備のため、年間を通じて剪定・清掃を実施しました。
------	---

▶ 【再掲】 深大寺・佐須地域等における「農」の歴史や文化を活かした
 景観づくりの推進（緑と公園課 環境政策課 まちづくり推進課）P24参照

取組3-（3）-② 天然記念物等の指定による社寺林の保全

▶ 【再掲】 指定文化財の適切な保全・管理（郷土博物館） P26参照

コラム 深大寺水車館

調布市深大寺水車館は、武蔵野台地の暮らしと生業を紹介する展示回廊と水車小屋を設けて、平成4年に開館しました。水車館の敷地になっているところは、明治時代末期に地元の人びとが水車組合を作り、お金を出し合って建てた水車小屋がありました。

水車の歴史や武蔵野台地の農業や暮らしに関わる資料を公開する展示や、水車を使用したそば粉ひき体験などの普及事業を開催しています。



昭和35年頃の深大寺水車

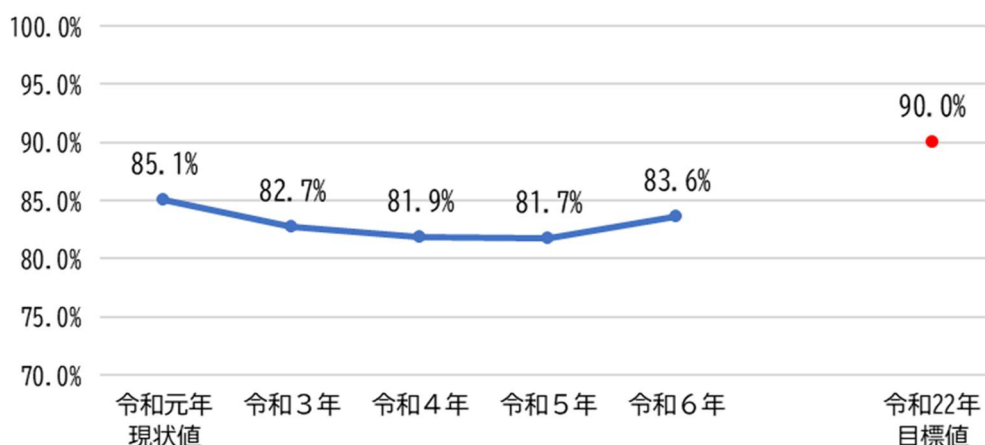
施策3－（4）川辺の保全と活用

良質な河川・水路の環境形成のための取組を河川管理者である国や東京都と連携しながら進めます。市民協働で清掃活動や川を汚さない取組を推進するほか、野川や多摩川、仙川といった河川については、親水性の高い空間について、市民団体と連携しながら活用を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
調布には優れた景観があると思う市民の割合【再掲】	令和元年 85.1%	令和22年 90%	83.6%	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、—：計測・活動がなく評価ができない



【再掲】 調布には優れた景観があると思う市民の割合の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画や景観条例に基づき、建築・開発行為等に対する届出審査を通じて、良好な景観形成に向けた規制誘導を行いました。 ● 調布市には優れた景観があると思う市民の割合は、調布市民意識調査の結果によると、令和6年度は令和5年度から1.9ポイント上昇しています。 	○


令和6年度の主な取組

取組3-(4)-① 良質な河川環境の保全・活用

▶ 多摩川・野川クリーン作戦の実施（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民や事業者と協働でクリーン作戦を実施しました。 ☞ 多摩川クリーン作戦 <ul style="list-style-type: none"> 春・ 4月14日 参加人数 967人 秋・ 11月10日 参加人数 993人 ☞ 野川クリーン作戦 11月23日 参加人数 108人
------	---

▶ 節水や下水に油等を流さないなどの普及啓発（下水道課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「下水道に油を流さないで！油・断・快適！下水道！」をスローガンに、市報、ホームページで周知・啓発を行いました。また、調布市商工会窓口にチラシを配架し、市内事業者に周知を依頼しました。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>「下水道に油を流さないで！ 油・断・快適！下水道！」チラシ 出典 東京都下水道局</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
------	---

コラム 多摩川・野川クリーン作戦

多摩川河川敷地区と野川河川敷地区は調布市が定める美化推進重点地区の一つです。地元自治会や商店街、事業者ほか、市民の皆様の参加協力を募り、定期的にクリーン作戦を実施しています。

実施時期について、多摩川クリーン作戦は毎年4月と11月の第2日曜日、野川クリーン作戦は毎年11月の第4土曜日に予定していますが、実施時期については変更になる場合がございますので、市報・ホームページ等で最新の情報をご確認ください。



多摩川・野川クリーン作戦

▶ 多摩川自然情報館を中心とした市内環境学習関連施設や社会教育施設における環境学習事業の推進（環境政策課 公民館）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多摩川自然情報館 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 展示室において、多摩川を中心とした市内の環境について学習できるパネルを展示 ☞ 毎月、多摩川を中心とした調布の自然環境に関する環境学習事業を毎月実施 参加人数計 116 人 ☞ 調布市いきものフォトコンテストの実施 応募点数 52 点 ☞ ふじみ衛生組合が主催する「ふじみまつり」への出店（岩石標本づくり 参加人数 22 人） ◆ 東部公民館で東部ジュニア教室・成人学級・展示会を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 東部ジュニア教室「親子でフルーツケーキのキャンドルづくり」回数：2 回 参加延べ人数：38 人 ☞ 成人学級「調布トマトの会～Enjoy！生ごみリサイクル～」生ごみのたい肥化や家庭でできる環境問題について情報交換 活動回数：10 回 参加延べ人数：41 人 ☞ 成人学級「調布トマトの会～Enjoy！生ごみリサイクル～」公開講座「生ごみは宝だ！生ごみ堆肥のつくり方と元気野菜づくり」回数：2 回 参加延べ人数：16 人 ☞ 成人学級「調布トマトの会～Enjoy！生ごみリサイクル～」東部地域文化祭に出展 ◆ 西部公民館で環境講座・成人学級を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 環境講座「プラスチックはごみではない！リサイクルの流れと未来への使い方に目を向けてみよう」回数：2 回 参加人数：29 人 ☞ 成人学級ウエストガーデンきらら「館外学習『川越の庭園と町並み見学』（成人学級いのちの楽校と合同学習）回数：1 回 参加人数：14 人 その他活動回数：16 回 参加延べ人数：127 人 ◆ 北部公民館で成人学級・文化講演会・市民の暮らし講座を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 成人学級「サステナブルを学ぶ会」食べ物に関するごみをキーワードに食品ロスも考えながら持続可能な暮らしを学びました。活動回数全 13 回 参加延べ人数 96 人 ☞ 文化講演会「私たちの地球を守ろう！教えて！南先生 今地球の自然環境はどうなってるの？」回数：1 回 参加延べ人数：20 人 ☞ 市民の暮らし講座Ⅱ「私たちの地球を守ろう！人と自然はつながっている。生物と環境学入門～調布のためきからカナダのサケまで、陸と水中の生態系」回数：2 回 参加延べ人数：32 人 ☞ 市民の暮らし講座Ⅳ「地球沸騰で大丈夫か？日本の山風景スライドトーク秋冬編」回数：1 回 参加延べ人数：17 人 ◆ 公民館 3 館で合同事業講演会・展示会を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 講演会「恐竜ハカセと一緒に考えよう～中生代の恐竜のこと、現代の私たちと地球のこと」回数：1 回 参加人数：140 人 ☞ 展示会「恐竜ハカセと一緒に考えよう～中生代の恐竜のこと、現代の私たちと地球のこと」の講演会会場に展示する化石の写真と解説文を各館にて展示しました。
------	--

▶ 深大寺・佐須地域における緑と水辺環境の一体的な保全（環境政策課 緑と公園課）

事業実績

- ◆ 調布に今も残る里山の風景や雑木林を市民と市が協働で保全していくため、ボランティア養成の講座を開催しました。
 - ☞ 深大寺・佐須地域での雑木林ボランティア講座の開催回数 4回（計61人）
- ◆ 公有地化した土地を活用し、市民を対象とした体験型の環境学習や柏野小及び晃華学園小の児童への環境教育を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を教育委員会やマイズ農業協同組合と連携し推進しました。
 - ☞ 延べ参加人数 2,130人
- ◆ 崖線樹林団体カニ山の会による深大寺自然広場のカニ山の雑木林の保全管理を実施しました。
 - ☞ 実施回数 11回



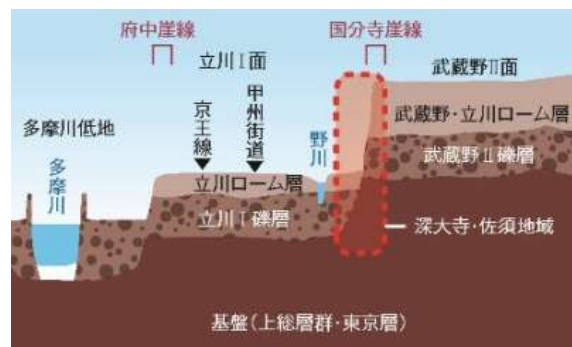
雑木林ボランティア講座 ワークショップの様子・布田崖線緑地 見学の様子

コラム 深大寺・佐須地域

市の中北部に位置する深大寺・佐須地域は、国分寺崖線の緑や崖線由来の湧水を水源とする水路、その水路に沿って広がる田畑などが一体となって、里山の環境が残されています。

この地域は、ハケと呼ばれる国分寺崖線を挟む2つの段丘にあり、ハケ下からの湧水が水路（小川）となって、多摩川の支流である野川に合流しています。都立農業高校神代農場や深大寺自然広場、崖線に沿って続く雑木林、農業用水路や都市農地が広がり、この良好な自然環境と里山の景観を維持しています。

市では平成26年3月に「調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用計画」を策定し、この地域の豊かな環境を調布の貴重な財産として次世代に引き継いでいくため、様々な取組を行っています。



深大寺・佐須地域の地勢図

施策3－（5）都市農地の保全と多面的な活用

都市緑地法の一部改正に伴い、農地が緑地として明確に定義されたことを受けて、崖線樹林地等との一体的な保全の検討をします。

指定から30年が経過し、多くの生産緑地の買取申出が可能となる2022年問題への対応として、特定生産緑地への指定や、営農継続のための支援を行います。

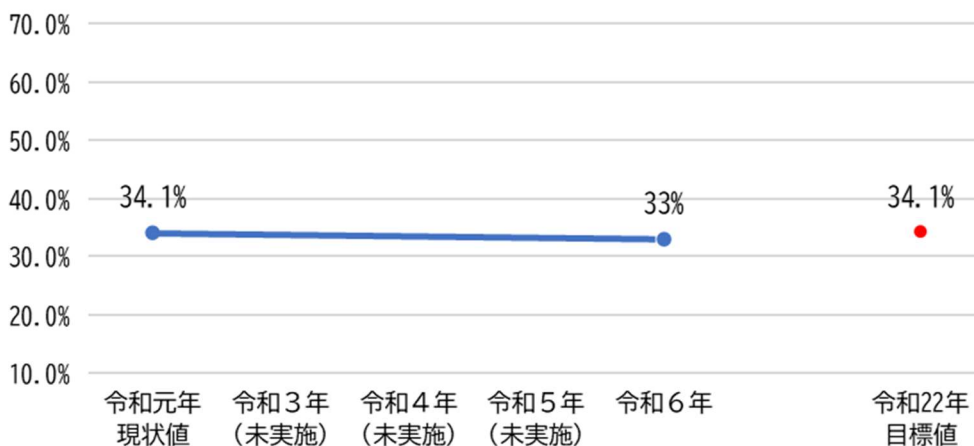
担い手不足解消のため、「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」（平成30年）の制定の周知を図り、農地貸借や市民農園・体験農園（農業体験ファーム）等の開設を促進します。また、援農ボランティア等の活用の検討により、農の担い手の育成・支援を図ります。

武蔵野の水と緑の生活文化を育んできた環境を次世代へ継承されるよう比較的まとまった農地や屋敷林が残る深大寺・佐須地域、深大寺北部地域、染地・布田地域を「農の里」と位置づけ、保全に取り組みます。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
みどり率【再掲】	令和元年 34.1%	令和22年 34.1%	33.0%	↓

【凡例】↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、―：計測・活動がなく評価ができない



【再掲】みどり率の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の緑の現況と推移を把握するため、約5年ごとにみどり率調査を実施しており、令和6年度に本調査を実施しました。 ● みどり率は、令和元年度の34.1%から令和6年度に33.0%と1.1ポイント下降しています。 	△

■ 令和6年度の主な取組

取組3-(5)-① 営農継続への支援・検討

▶ 担い手への包括的な支援の拡充（農政課）

事業実績	◆ 新規就農者や農業後継者について、国や都と連携した支援に努めました。
------	-------------------------------------

▶ 都市農業育成対策事業の推進（農政課）

事業実績	◆ 「都市農業育成対策事業」を実施しました。 ◆ 農業者に対して農業経営向上に対する取組を支援しました。 ☞ 取組支援：27件
------	---

▶ 直売の利用促進（農政課）

事業実績	◆ 電子化した調布市農産物直売所マップを活用し、直売所の紹介や経路案内等、市内農産物の認知度向上及び地産地消を促進しました。
------	--

▶ 国や都の支援制度の活用及び新たな制度の導入・要望（農政課）

事業実績	◆ 都の補助事業を活用し、市内農業者を支援しました。
------	----------------------------

▶ 「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」の周知、活用（農政課）

事業実績	◆ 「都市農地貸借円滑化法（特定農地貸付法含む）」を活用した農地の貸借を行いました。 ☞ 農地貸借：5件
------	---

取組3-(5)-② 生産緑地の追加指定及び特定生産緑地の指定促進

▶ 生産緑地の追加指定の促進（まちづくり推進課 農政課）

事業実績	◆ 生産緑地法第3条第1項の規定に基づく追加等に係る都市計画手続きを行いました。 ☞ 令和6年度の指定等の件数 追加4地区、精査11地区、削除30地区 ☞ 令和7年1月時点の地区数及び面積 395地区/約104.47ha
------	--

▶ 特定生産緑地の指定推進（まちづくり推進課 農政課）

事業実績	◆ J A マインズと連携し、特定生産緑地制度を希望する農業者の申請を受け付けました。 ☞ 令和6年度に指定した特定生産緑地 2地区/約0.10ha ☞ 引き続き、制度の促進を図りました。
------	--

取組3-(5)-③ 市民農園・農業体験ファームの充実

▶ 市民農園事業の推進（農政課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民が農作業を通して自然に親しみ、野菜づくりを楽しみながら、農業に対する理解を深めるため、深大寺南町、東つつじヶ丘に新たに2園の市民農園を開園しました。
------	--

▶ 農業体験ファーム事業の推進（農政課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農家による農園で、農家があらかじめ用意した農具、資材、種や苗などを使用し、指導を受けながら野菜栽培ができる農業体験ファームの運営に対して補助を行いました。 ☞ 6園の農業体験ファームの運営に対して補助を行いました。
------	--

取組3-(5)-④ 農の風景育成地区の取組の推進

▶ 深大寺・佐須地域農の風景育成地区における農の風景を継承する取組の推進（環境政策課 緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公有地化した土地を活用し、市民及び公有地近隣の小学校の児童を対象に、田植えや稲刈り等の農業体験をマインズ農業協同組合との協働により実施しました。 ☞ 農業体験参加者数 合計1,120人 (市民768人 学校関係者352人) ◆ 農業公園の開園に向けた管理棟やトイレなどの建築工事を実施しました。 ◆ 近隣児童館や保育園等を対象に野菜の収穫体験や配布を実施しました。 ☞ 74回 212人 ◆ 令和6年7月1日に、深大寺・佐須地域北・南農業公園の供用を開始しました。南農業公園においては、開園時間内に作業員常駐の運営体制で実施しています。農業公園イベントとして、市民参加の収穫体験を3回実施し、67人が参加しました。
------	--

▶ 【再掲】深大寺・佐須地域における緑と水辺環境の一体的な保全（環境政策課 緑と公園課） P31参照

取組3-(5)-⑤ 食育の推進

▶ 農家と学校のマッチング等による学童・学校農園の推進（農政課 指導室）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 布田小学校・多摩川小学校・上ノ原小学校、第三小学校にて学童農園を実施しました。 ◆ 滝坂小学校において新たな学童農園を開設するための土づくりを実施しました。 ◆ 調和小学校にて学校農園を実施しました。
------	--

▶ 食育に取り組む学校・保育所等への支援及び農業体験等の食育の取組を希望する学校・保育所等への支援を検討（学務課 保育課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校の授業において外部講師として近隣の農業生産者を招き、地場野菜等について話をさせていただくことで、学校給食を通じた食育の取組を推進しました。 ◆ じゃがいもやさつまいも掘りの体験をしたり、散歩途中の畑の成長を見学し、農家の方に話を聞くなど、交流を持つことができ、園内での簡単な野菜の栽培に生かすことができました。
------	--

▶ 給食食材への地場産野菜・果物の利用拡大（学務課 保育課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 所管課に対して、給食食材への市内農産物の利用拡大を働きかけました。 ◆ 市立小・中学校24校で地場産野菜を使用しました。 ◆ じゃがいもやさつまいも掘り、大根掘りなどの体験後、給食やおやつに活用したり、家庭に持ち帰り、家庭で味わっていただけるよう、啓蒙することができた。
------	---

取組3-(5)-⑥ 農の里計画の推進

▶ 武蔵野のくらしの文化を伝える農の里づくりの推進（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和6年7月1日に、深大寺・佐須地域北・南農業公園の供用を開始しました。農業公園イベントとして、市民参加の収穫体験を3回実施し、67人が参加しました。 ◆ 屋敷林や社寺林の保全のため、保存樹木への補助などを行いました。
------	--

取組3-(5)-⑦ 都市農地の保全

▶ 新たな用途地域である「田園住居地域」の指定の研究（まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 低層住宅地と農地等の調和を図り、良好な居住環境と営農環境の形成を促進する田園住居地域の指定に関する制度の研究について、上位計画で位置付けました。
------	--

▶ 地区計画など都市計画制度を活用した農地保全制度の研究（まちづくり推進課 環境政策課 緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 次期都市計画マスタープランの策定に向けた検討において、調布市の土地利用の現況等を踏まえた課題整理や制度の研究を行いました。 ☞ 令和5年8月に策定した「調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」で示したまちづくりの方針や将来像実現に向けて適正な土地利用の推進を図っています。
------	--

コラム 都市計画マスタープラン

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき、市の都市計画の基本的な考え方を示すものであり、市におけるまちづくりの総合的な指針となるものです。社会情勢の変化やまちづくりに関する課題に対応するとともに、多様な都市機能の集積等により更に都市空間の質を高めていく観点から、令和5年8月に立地適正化計画とあわせて、都市計画マスタープランを新たに策定しました。

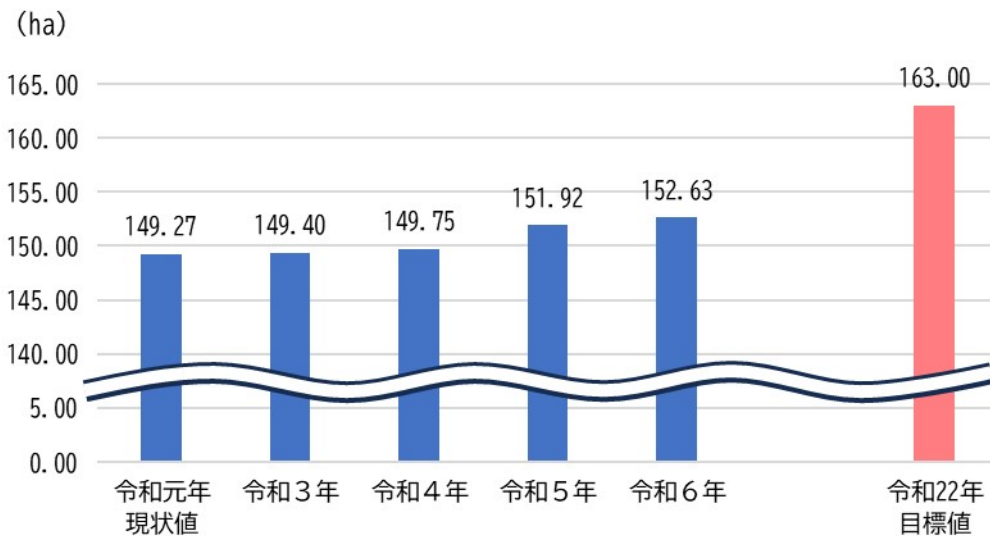
施策4－(1) 公共施設の緑化推進

ヒートアイランド現象の緩和等の地球温暖化対策や緑の景観形成等を目的として、公共施設の壁面緑化等により緑化の推進を図ります。とくに、学校施設において緑のカーテンを設置することにより、室温の上昇抑制と環境教育としての活用を図ります。また公園の緑や、街路樹の整備を推進します。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度 実績値	進捗 状況
公共が保全する緑の面積【再掲】	令和元年 149.27ha	令和22年 163ha	152.63ha	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない



【再掲】 公共が保全する緑の面積の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 公共が保全する緑の面積の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区です。令和6年度は令和5年度よりも面積が0.71ha増加しています。 	◎

令和6年度の主な取組

取組4-(1)-① 公園の緑や街路樹の整備・保全

都市計画道路の街路樹等による連続した緑の街並みの創出・保全 (まちづくり推進課 道路管理課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 街路樹及び低木等の剪定を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> 📄 定期管理 75路線32, 956㎡ ◆ 都市計画道路に街路樹を設置し、緑の街並みを創出します。 <ul style="list-style-type: none"> 📄 実施なし
------	---

【再掲】公園・緑地の整備と公有化の推進 (緑と公園課)

P9参照

取組4-(1)-② 公共施設における壁面緑化の推進

公共施設の壁面緑化の推進 (環境政策課 緑と公園課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市内公共施設で緑化パネルを用いた壁面緑化の推進をおこないました。 <ul style="list-style-type: none"> 📄 実施施設数：1施設
------	---

小・中学校校舎の屋上緑化・壁面緑化の推進 (教育総務課)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グリーンカーテンを設置したことにより、室内温度の上昇を抑えることができ、空調使用の抑制につながりました。 ◆ グリーンカーテンを環境教育の教材として活用しました。 <ul style="list-style-type: none"> 📄 実施校：緑ヶ丘小学校, 国領小学校, 布田小学校
------	--

コラム グリーンカーテン

グリーンカーテン (緑のカーテン) は、ゴーヤなどのつる植物を育て、窓や建物の壁面を覆ったものです。夏場は、直射日光や壁面からの熱により室内温度が上昇しますが、グリーンカーテンがあることで、建物の温度の上昇が抑制され、節電効果も期待されます。

市内の小中学校や公民館、児童館など、一部の公共施設で夏の緑のカーテン作りに取り組んでいます。緑のカーテンを実施した施設では、日差しが遮られて涼しいといった声が聞かれました。

ゴーヤでつくろう緑のカーテン パンフレット



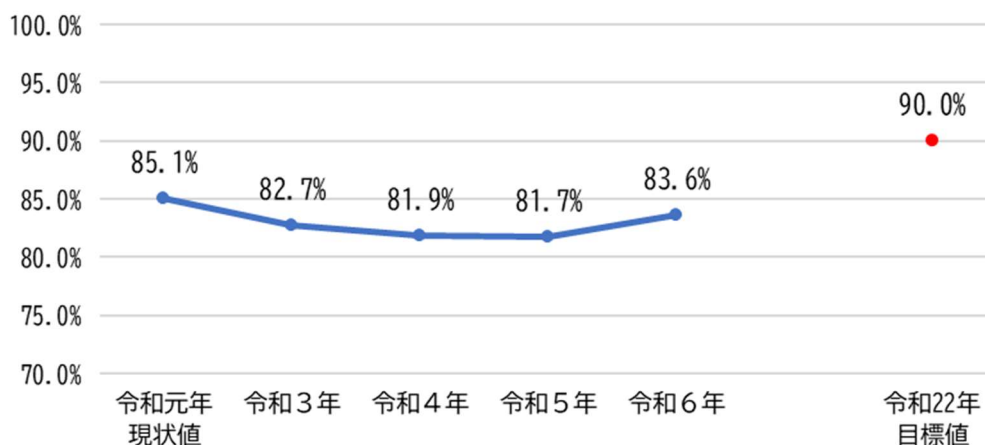
施策4－(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成

緑に関する各種法制度等の周知・活用推進により、まちなかの民有地における緑地・樹木の創出・保全を誘導します。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
調布には優れた景観があると思う市民の割合 【再掲】	令和元年 85.1%	令和22年 90%	83.6%	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， ー：計測・活動がなく評価ができない



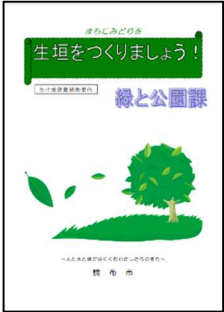
【再掲】 調布には優れた景観があると思う市民の割合の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画や景観条例に基づき、建築・開発行為等に対する届出審査を通じて、良好な景観形成に向けた規制誘導を行いました。 ● 調布市には優れた景観があると思う市民の割合は、調布市民意識調査の結果によると、令和6年度は令和5年度から1.9ポイント上昇しています。 	○

■ 令和6年度の主な取組

取組4-(2)-① 市民に活用しやすい緑化の補助等の制度の周知・活用推進

▶ 新設生垣に対する補助（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 窓口や市HPで広報を行い制度の周知に努めました ▶ 新設数：1件 	 <p>生垣パンフレット</p>
------	--	---

▶ 公遊園等清掃協力者への助成（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市内の公遊園等を衛生的に維持するため、地域のボランティアが清掃活動を行いました。 ▶ 活動団体数：21団体
------	---

▶ 市民団体による崖線樹林地維持保全活動への支援（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保全活動に必要な用具類の支給を行いました。 ◆ 調布市緑と公園課と崖線樹林地保全団体による「協働による保全活動」のための場である雑木林連絡会の運営を支援しました。 ▶ 開催回数 3回
------	--

取組4-(2)-② 保存樹木・保存生垣の維持管理の支援

- ▶ 【再掲】社寺林、屋敷林等の保全のための支援（緑と公園課） P26参照
- ▶ 【再掲】保全地区等に対する補助（緑と公園課） P20参照

取組4-(2)-③ 民間施設における敷地内や屋上・壁面緑化の推進

▶ 民間施設の敷地内や屋上緑化の推進（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 民間施設の敷地内や屋上緑化を推進するため、緑化指導を行いました。 ▶ 開発指導件数：34件
------	---

取組4-(2)-④ 景観形成重点地区・景観形成推進地区における緑の街並みの形成

- ▶ 【再掲】景観法や調布市景観条例、景観計画等に基づく
 景観まちづくりの推進（まちづくり推進課） P20参照

施策4－(3) 身近な樹木・植栽の保全

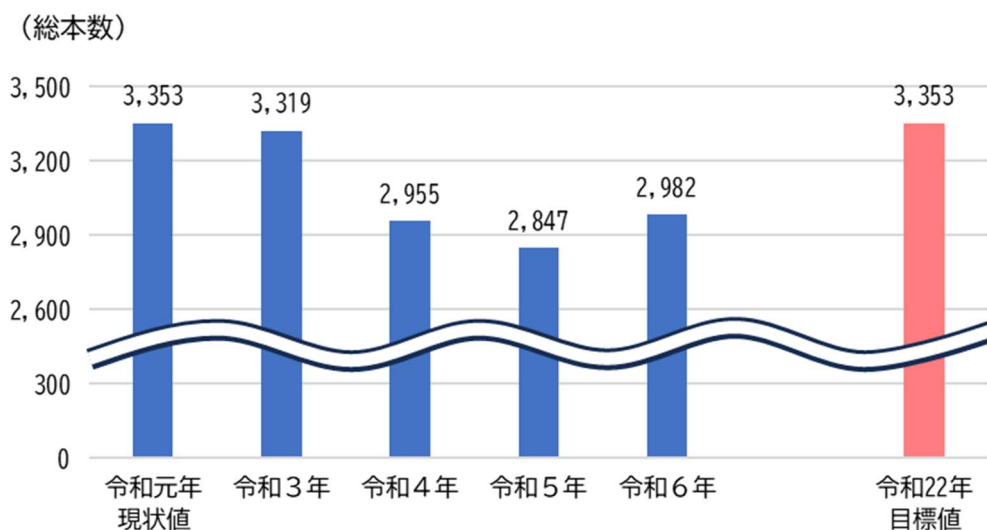
一定の基準を満たした樹木や生垣は、保存樹木・保存生垣として指定し、維持管理についての支援を行います。その他、景観重要樹木の指定や屋敷林の維持管理の支援等により身近な樹木の保全を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
保存樹木の補助金交付総本数 ※	令和元年 3,353本	令和22年 3,353本	2,982本	→

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない

※保存樹木の総本数は補助金を交付した本数



保存樹木の総本数の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度までは土地所有者の事情による解除が多くありましたが、保存樹木の新規指定も行っており、令和6年度は令和5年度よりも135本増加しています。 	◎

■ 令和6年度の主な取組

取組4-(3)-① 【再掲】保存樹木・保存生垣の指定による維持管理の支援

- ▶ 【再掲】社寺林，屋敷林等の保全のための支援（緑と公園課） P 26 参照
- ▶ 【再掲】保全地区等に対する補助（緑と公園課） P 20 参照

取組4-(3)-③ 屋敷林の維持管理の支援

- ▶ 【再掲】社寺林，屋敷林等の保全のための支援（緑と公園課） P 26 参照

コラム みどりの推進のための市の取組

● 保全地区・保存樹木・保存生垣補助金・保存樹木等せん定補助金

明るく潤いと安らぎのある調布を目指して市内の緑を豊かにするとともに貴重な樹林や大木を後世に残すために、一定の基準を満たす樹林・樹木・生垣を保全地区・保全樹木・保存生垣として指定しています。

指定の基準や申し込み方法，せん定の補助制度など，詳しくは，市のホームページにてご確認ください。

【保全地区・保存樹木・保存生垣補助金・保存樹木等せん定補助金】

<https://www.city.chofu.lg.jp/070020/p040025.html>



● 生け垣費用の助成

生け垣は，街並みを美しくするだけでなく騒音の吸収，通風の確保，夏の強い日差しや照り返しを和らげる効果などがあります。

また，地震や火災が発生した際にも塀の倒壊や防火にも効果があり，防災上も役立ちます。市では，条件を満たす生垣を新たに設置する場合，補助金を支給していますので，詳しい条件は市のホームページにてご確認ください。

【生け垣費用の助成】

<https://www.city.chofu.lg.jp/070020/p040023.html>



生け垣設置前と設置後（設置例）

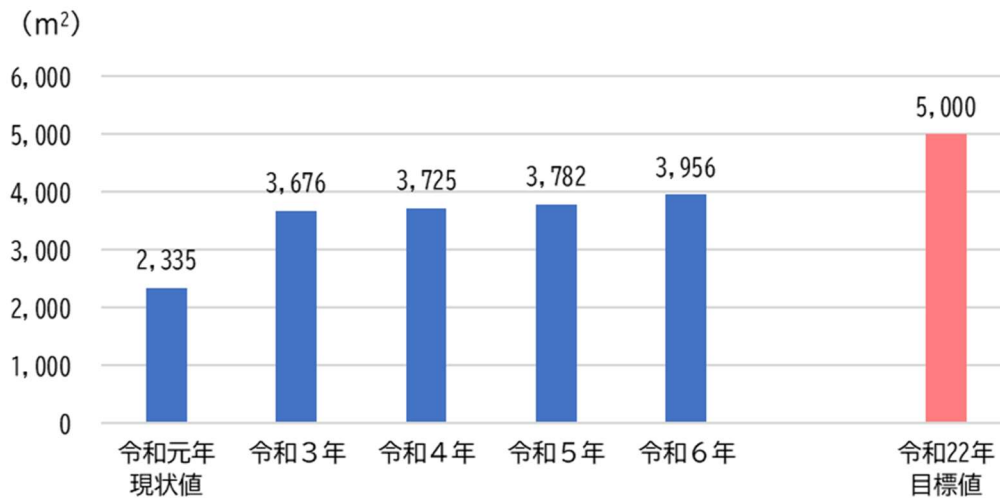
施策5ー(1) 水と緑のネットワークの形成

水辺空間や公園・緑地，公共施設等を結び，だれもが快適で安心して歩くことができる緑道・散策路のネットワーク形成を図ります。

■ 施策の指標

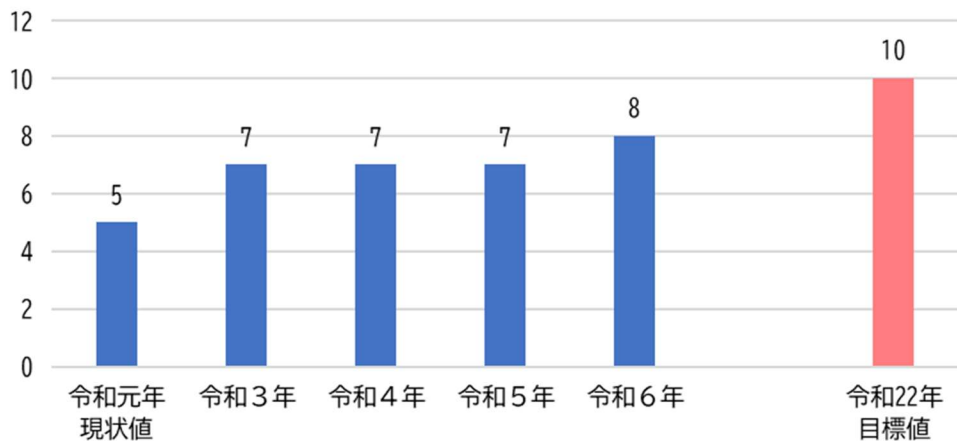
指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
花いっぱい運動事業活動面積	令和元年 2,335 m ²	令和22年 5,000 m ²	3,956 m ²	↑
市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数【再掲】	令和元年 5箇所	令和22年 10箇所	8箇所	↑
公共が保全する緑の面積【再掲】	令和元年 149.27ha	令和22年 163ha	152.63ha	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない



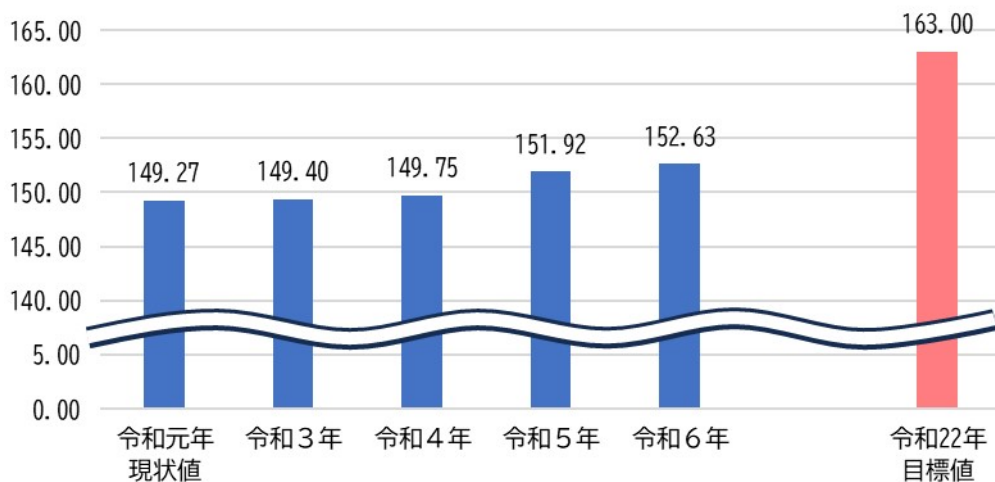
花いっぱい運動事業活動面積の推移と目標

(箇所数)



【再掲】 市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数の推移と目標

(ha)



【再掲】 公共が保全する緑の面積の推移と目標

令和6年度の振り返り		評価
<ul style="list-style-type: none">● 花いっぱい運動の団体数、面積共に順調に増加しています。活動面積は令和5年度よりも174㎡増加しています。● 市民団体との協働による保全活動を8箇所で行いました。ボランティア保険への加入、安全講習会の実施、活動に必要な消耗品の提供を行いました。● 公共が保全する緑の面積の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区です。令和6年度は令和5年よりも面積が0.71ha増加しています。		◎


■ 令和6年度の主な取組

取組5-(1)-① 市の緑の骨格となる崖線の保全

▶ 崖線樹林地等の公有化・保全管理（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調布市の緑の骨格をなす崖線を守り育てるため、崖線樹林地の管理及び公有化の検討を行いました。 ◆ 崖線樹林地保全管理計画を策定しました。
------	--

▶ 樹林・緑地の維持管理活動支援団体の設立支援・育成（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 崖線樹林地保全活動団体へ講師の派遣をし、勉強会を開催して、育成支援を行いました。 ☞ 支援団体：8団体 <p style="text-align: center;">調布市崖線樹林地保全管理計画（深大寺元町）</p>	
------	---	---

▶ 【再掲】 深大寺・佐須地域における緑と水辺環境の一体的な保全
 （環境政策課 緑と公園課） P 3 1 参照

▶ 【再掲】 市民参加による崖線や緑地の整備・管理（緑と公園課） P 1 4 参照

▶ 【再掲】 市民団体による崖線樹林地維持保全活動への支援（緑と公園課） P 3 9 参照

取組5-(1)-② 鉄道敷地の緑道整備と維持管理

▶ 鉄道敷地の緑道整備と維持管理（まちづくり推進課 道路管理課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 鉄道敷地の整備に合わせ樹木を設置しました。 ☞ 植栽：1,193㎡（やすらぎ健康ゾーン）
------	---

コラム 調布市・崖線樹林地ガイドマップ もりのちず

市では、「調布市・崖線樹林地ガイドマップ もりのちず」を発行しています。

この地図は、市内において環境活動を行う市民団体「ちょうふ環境市民会議」との協働により、市内の崖線樹林地やその崖線樹林地で活動する市民団体を紹介し、環境活動の担い手づくりにつなげるため、作成しました。



もりのちず(カニ山編)

取組5-(1)-③ 駅周辺の花と緑のあふれる空間づくり

▶ 花いっぱい運動の推進（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 明るく潤いと安らぎのある調布を目指して、花苗を植え、花を咲かせて地域の緑を豊かにすることを目的とした花いっぱい運動を推進しました。
📌 新規登録 6団体

花いっぱい運動の実施箇所



▶ 駅前広場の整備と維持管理（まちづくり推進課 道路管理課）

事業実績

- ◆ 駅前広場の街路樹について、せん定等による適切な維持管理を行いました。

コラム 花いっぱい運動

「花いっぱい運動事業」とは、明るく潤いと安らぎのある調布を目指して、花苗を植え、花を咲かせて地域の緑を豊かにすることを目的に、緑化活動を進める市内の地域グループを募集し、その活動経費の一部を市が補助するものです。

市では、花いっぱい運動地域グループとおもてなしガーデンサポーター（おもてなしガーデンと呼ばれる花壇を維持管理するボランティアグループ）との花いっぱい交流会や、花いっぱい運動写真コンクールなどを開催し、活動を推進しています。



花いっぱい運動で花が植えられている様子



街に設置されている花いっぱい運動の看板

取組5-(1)-④ 都市計画道路における街路樹の整備と維持管理

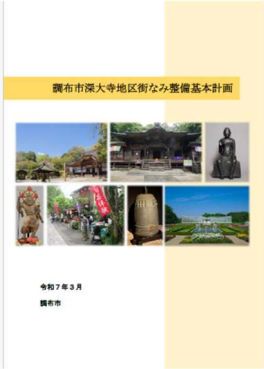
▶ 街路樹の維持管理（道路管理課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 街路樹及び低木等の剪定を実施しました。 【数】 定期管理 75路線 32,956㎡◆ 伐採その他枝切り等を行いました。 【数】 87件
------	--

- ▶ 【再掲】 都市計画道路の街路樹等による連続した緑の街並みの創出・保全
(まちづくり推進課 道路管理課) P37参照

取組5-(1)-⑥ 回遊性を高めるまちづくり

▶ 深大寺地区街なみ環境整備事業の実施（まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 令和6年度が調布市深大寺地区街なみ整備基本計画の計画年次の最終年度であったことから、令和7年度～令和20年度を計画年次とする調布市深大寺地区街なみ整備基本計画を検討・策定しました。	
------	--	--

調布市深大寺地区街なみ整備基本計画

コラム 調布市深大寺地区街なみ整備基本計画

市はこれまで、水車館の再現や深大寺通り周辺の修景整備、特別用途地区の指定などを進め、深大寺地区の景観保全とにぎわいの向上に取り組んできました。

また、地域でも「深大寺通り街づくり協議会」が独自の街づくり協定を締結するなど、主体的なまちづくりの取り組みが進められています。

こうした経緯と、都市計画マスタープランや地域別街づくり方針といった上位計画を踏まえ、深大寺地区の良好な街なみ景観を維持・向上させるため、平成24年11月に「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」を策定しました。

さらに、計画の推進を図るため、令和7年3月に計画を更新し、今後も街なみ環境整備を着実に進めていきます。

施策5－（2）生態系の保全と再生

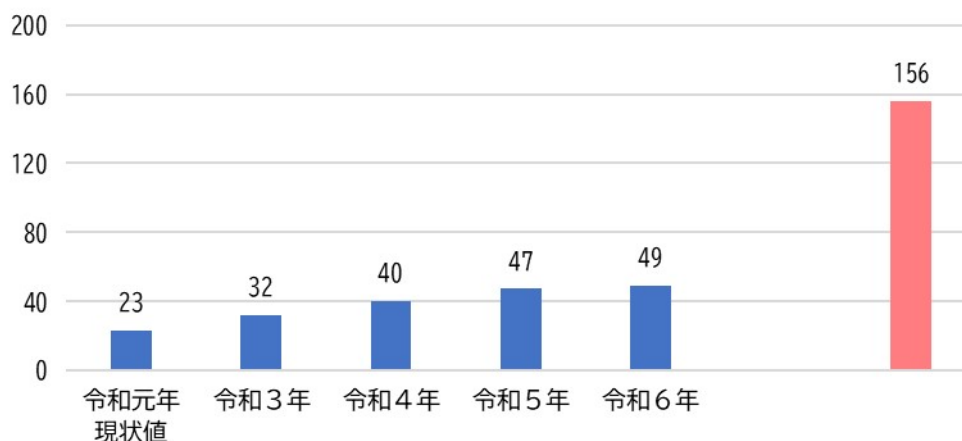
崖線や屋敷林、水辺等、生き物の棲み処を保全するとともに、生き物の移動空間となる街路樹等のネットワーク形成を図ります。また、継続的な調査による生態系の観測を行い、重要種等の実態把握を行います。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
自然環境調査の実施回数	令和元年 23回 (H28～R元の累計)	令和22年 156回 (H28～R22の累計)	49回 (H28～R6の累計)	→

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、－：計測・活動がなく評価ができない

(累計回数)



自然環境調査の実施回数の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境調査は、多摩川、野川及び仙川、並びに佐須の用水において、底生生物、付着藻類の調査を実施し、野川及び仙川において、魚類調査を実施しました（1回）。 ● 湧水調査は概ね3年に1回調査を行っています（令和6年度は未実施）。調布市環境モニター活動において、植物調査等を実施しました。 ● 今後も定点観察を取り入れた植物調査を継続するなど、調査内容の充実を図ります。 	○

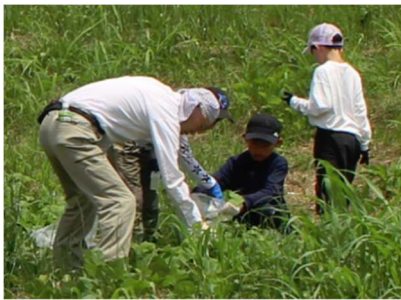

■ 令和6年度の主な取組

取組5-(2)-① 生き物の生息空間の保全・創出

▶ 公園等における生物の生息に適した空間の確保（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ ナラ枯れ防除対策として罹患木の伐採・粘着被膜処理剤塗布等を実施し、被害の拡大を防ぎました。◆ 多摩地域に自生する植物の保護を目的とする、野草園の適正な維持管理に努めました。
------	---

▶ 事業者と連携した河川敷等での特定外来生物（植物）駆除活動の実施（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 多摩川河川敷（定点875㎡の範囲）の特定外来生物（植物）駆除を実施しました。 ☞ 実施回数 2回（合計680kg 駆除） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>多摩川の外来植物駆除の様子</p></div><div style="text-align: center;"><p>特定外来生物「アレチウリ」</p></div></div>
------	---

▶ 生物多様性の保全を踏まえた既存水路（深大寺・佐須地域）の環境整備の検討（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 体験型の環境学習や小学校児童への環境教育を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組をマインズ農業協同組合等との協働により推進しました。 ☞ 延べ参加人数2,130人
------	--

▶ 【再掲】 都市計画道路の街路樹等による連続した緑の街並みの創出・保全
(まちづくり推進課 道路管理課) P 37 参照

▶ 【再掲】 街路樹の維持管理 (道路管理課) P 46 参照

取組5-(2)-② 継続的な生態系の観測調査

▶ 自然環境や生物調査の実施・把握と結果の公表（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 調布市環境モニター活動において、多摩川の植生調査などを実施しました。 ※秋の植生調査（令和6年9月30日）はスタッフのみで実施◆ 湧水調査については概ね3年に1回調査を行っています（令和6年度は未実施）。
------	---

コラム 特定外来生物（植物）

特定外来生物とは、外来生物（もともとその地域にいなかったが、人間によって他の地域から入ってきた動植物）のうち、特に生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの、又は及ぼす恐れがあるとして指定されたものです。

外来生物法により、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などの取り扱いが原則、規制されています。

市で確認された特定外来生物(植物)は、アレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクの4種類です。



オオキンケイギク
出典 環境省



オオカワヂシャ
出典 国土交通省

市では、平成23年度から多摩川の生物多様性を保全するために、生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物であるアレチウリとオオカワヂシャの駆除をする市民参加イベントを毎年開催しています。

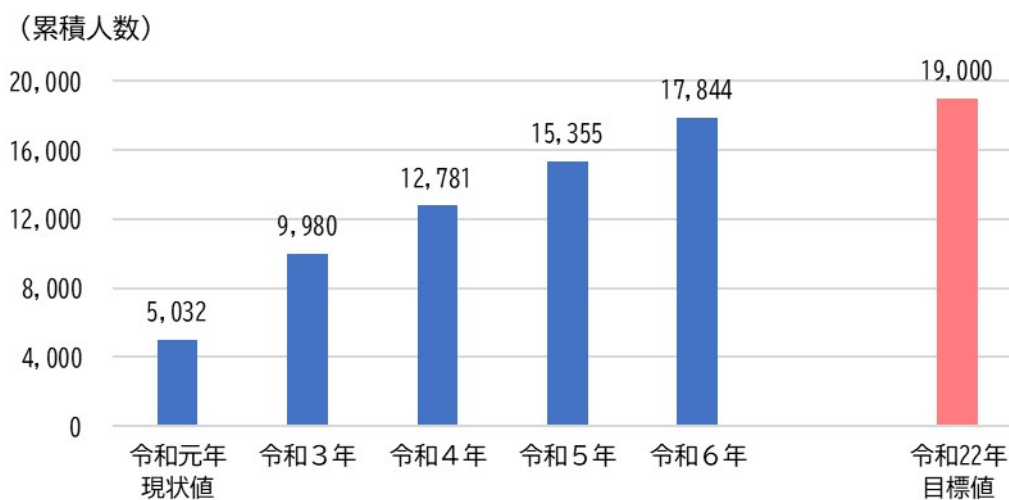
施策5－（3）緑資源を活かした循環型社会の形成

せん定枝資源化や枝葉チップたい肥化といった緑資源を活かした取組を推進します。環境学習として学校教育等における連携により、普及啓発を進め、循環型社会の構築に向けた機運醸成を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
自然体験学習の参加者人数	令和元年 5,032人 (H28～R元の累計)	令和22年 19,000人 (H28～R22の累計)	17,844人 (H28～R6の累計)	↑

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
 ↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、—：計測・活動がなく評価ができない



自然体験学習の参加者数の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> 調布こどもエコクラブや調布水辺の楽校，雑木林ボランティア講座，多摩川自然情報館月別イベント，深大寺・佐須地域の公有化した土地での環境学習，神代農場活用事業などを実施し，参加人数は累計17,844人となりました。 	◎

令和6年度の主な取組

取組5-(3)-① 緑資源の再利用の推進

▶ せん定枝資源化支援事業の推進（ごみ対策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市報及びホームページ、デジタルサイネージ、テレビ広報等で利用促進を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 申込件数 243件 ☞ 処理量 40,688kg
------	--

取組5-(3)-② 環境学習の推進

▶ 里山を活かした体験学習プログラムの実施（環境政策課 緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 雑木林ボランティア講座（6回）において、参加者に対し、雑木林の理解と維持管理に役立つ知識・技能の習得目的から、里山を題材とした講義、実技の学習を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 雑木林ボランティア講座の開催回数 6回（延べ92人参加）
------	---

▶ 里山に関する環境学習の推進（環境政策課 緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 雑木林ボランティア講座（6回）において、参加者に対し、雑木林の理解と維持管理に役立つ知識・技能の習得目的から、里山を題材とした講義、実技の学習を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 雑木林ボランティア講座の延べ参加人数 92人 ◆ 公有化した土地を活用し、市民や小学校児童を対象に体験型の農業体験を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を市民団体やマイنز農業協同組合等との協働により推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 環境教育 延べ参加人数2,130人
------	--

▶ SDGsを含む環境に関する学習機会の提供（指導室 環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ SDGsの17項目と関連付けた教科等横断的な学習の充実に取り組みました。（指導室） <ul style="list-style-type: none"> ☞ 多摩川や野川を教材とした環境教育・体験活動の充実 ◆ 体験型ワークショップを開催し、SDGsの目標についても解説しました。（環境政策課） <ul style="list-style-type: none"> ☞ 水力発電装置の工作と体験 11月10日 参加人数23人 ☞ DIYで断熱内窓をつくる体験 11月16日 参加人数9人
------	---



水力発電の様子

▶ 自然体験型環境教育の推進（指導室）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 八ヶ岳移動教室（調布市立小学校5年生）を実施しました。◆ 日光移動教室（調布市立小学校6年生）を実施しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 全校実施
------	--

▶ 環境学習プログラム・教材の提供（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 多摩川自然情報館学校連携事業として、学習指導要領に沿った環境学習プログラムを市立小学校20校へ提供し、講師派遣を実施しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 派遣回数1校（富士見台小）
------	--

▶ 深大寺・佐須地域の環境資源を活用した市民との協働による環境学習事業の推進（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 深大寺・佐須地域の環境資源を含む講座を開催しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 雑木林ボランティア講座の開催回数 6回
------	---

▶ 多摩川自然情報館におけるオンラインイベント、月別イベント等の実施（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ Zoom等を活用したオンラインイベントを実施しました。<ul style="list-style-type: none">☞ オンライン環境学習教材の配信☞ 小学生を対象にした気候変動を絡めた環境学習教材をオンライン（YouTubeチャンネル等）で年1回配信◆ 月別イベントを開催しました<ul style="list-style-type: none">☞ 月別イベント 開催回数 8回、参加者数 88人
------	---

▶ 小中学生等への環境活動機会の提供（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 調布こどもエコクラブを開催しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 開催回数 4回 参加者数 51人◆ 多摩川自然情報館の子ども向けイベントを開催しました。（中学生以下を対象）<ul style="list-style-type: none">☞ 開催回数 8回、参加者数 88人
------	---

▶ 調布こどもエコクラブでの環境保全・調査活動の実践（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 調布こどもエコクラブを開催しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 開催回数 4回 参加者数 51人☞ 内容：近くにある竹林で遊んでみよう、自然のものを使って秘密基地づくり、自然でエコなツリーをつくろう、ワイドゲーム「自然のものをつかって宝物を探せ」
------	--

▶ 都立農業高校・相互友好協力協定大学との連携による環境学習の推進（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none">◆ 平成20年に締結した都立農業高校との相互連携基本協定に基づき、同校と共同で「深大寺・佐須地域の湧水散策」を開催しました。<ul style="list-style-type: none">☞ 深大寺・佐須地域の湧水散策～カブトムシの幼虫をプレゼント～☞ 実施日11月23日（土） 参加者27人
------	---

▶ 環境活動交流会の開催（環境政策課）

事業実績	<p>◆ 第16回環境活動交流会を開催しました。</p> <p>開催回数 1回</p> <p>「地球にやさしい都市農業と新しい暮らし」をテーマに開催</p>
------	--

- ▶ 【再掲】多摩川自然情報館を中心とした市内環境学習関連施設や社会教育施設における環境学習事業の推進（環境政策課 公民館） P 30 参照

取組5-（3）-③ 食育の推進【再掲】

- ▶ 【再掲】農家と学校のマッチング等による学童・学校農園の推進（農政課 指導室） P 34 参照

- ▶ 【再掲】食育に取り組む学校・保育所等への支援及び農業体験等の食育の取組を希望する学校・保育所等への支援を検討（学務課 保育課） P 35 参照

- ▶ 【再掲】給食食材への地場産野菜・果物の利用拡大（学務課 保育課） P 35 参照

コラム 市内で開催されているイベント

市では、環境保全に取り組む市民・団体・事業者が交流し、活動の輪を広げる「環境活動交流会」を定期的で開催しています。

令和7年2月9日(日曜日)には、循環型都市農業の実践、ゼロカーボンに向けた新しい暮らし方などを学び、環境活動団体や市民の方が交流する環境活動交流会を開催しました。12の団体・事業者と市民8人が参加し、深大寺・佐須地域の公有地を見学して、循環型都市農業の実践やゼロカーボンに向けた新しい暮らし方について学びました。佐須ふれあいの家では、循環型都市農業やゼロカーボンについて、参加者同士で楽しみながら意見交換をしました。



第16回 環境活動交流会「地球にやさしい都市農業と新しい暮らし」

第16回環境活動交流会
地球にやさしい都市農業と新しい暮らし

開催日時
令和7年2月9日(日)
午後1時～4時

開催場所
佐須ふれあいの家
深大寺・佐須地域の公有地

参加費
無料

お問い合わせ
環境政策課 市民生活課 市民生活係
TEL: 0423-82-2111

申し込み
環境政策課 市民生活課 市民生活係
TEL: 0423-82-2111

申し込み
環境政策課 市民生活課 市民生活係
TEL: 0423-82-2111

申し込み
環境政策課 市民生活課 市民生活係
TEL: 0423-82-2111

施策6ー(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進

樹木せん定やガーデニング等の緑化技術に関する公開講座を開催し、市民による緑化の技術面でのサポートを行います。

崖線樹林地維持保全活動や公遊園等清掃協力者への支援を行い、市民主体の緑化活動の維持・存続を図ります。また、その他緑化を担う地域主体の活動の運営を支援します。

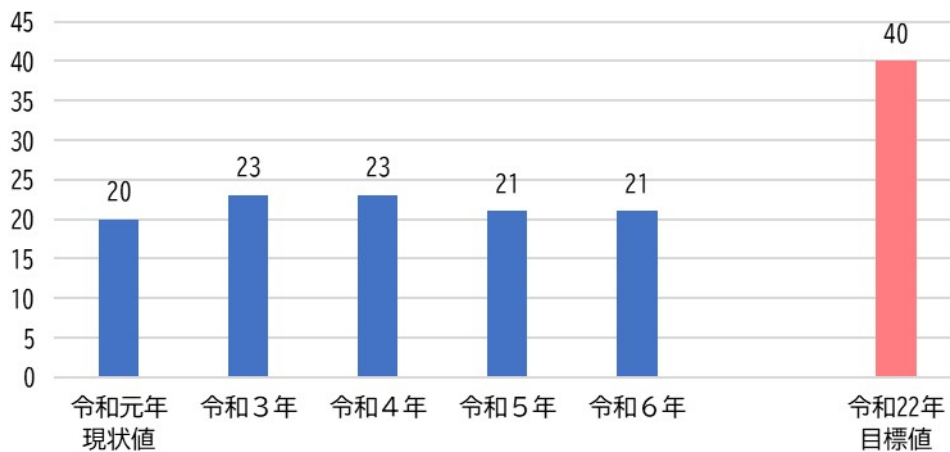
市民・事業者・行政の協働のため、お互いの情報交換や意思疎通、各種相談を受ける機会や場を創出し、意識醸成と連携を深めていきます。

■ 施策の指標

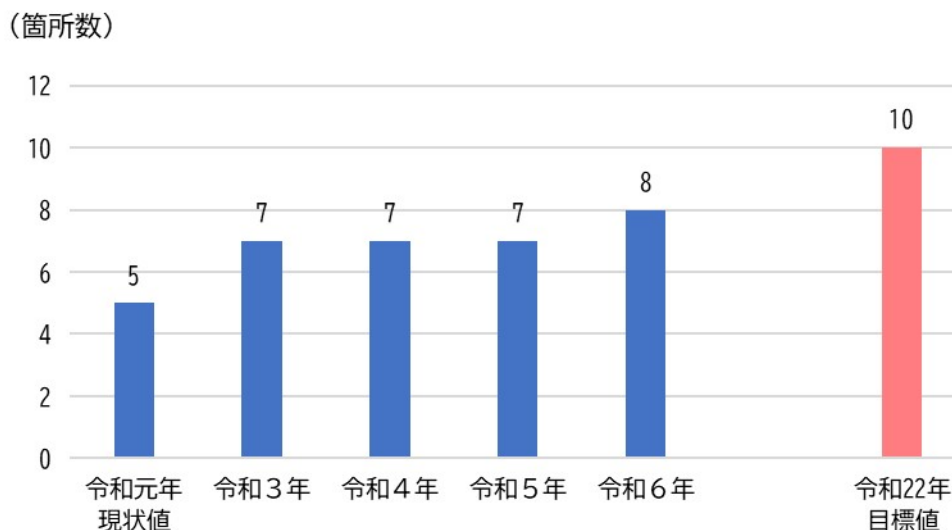
指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
公遊園等清掃協力団体数	令和元年 20 団体	令和22年 40 団体	21 団体	↓
市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数【再掲】	令和元年 5 箇所	令和22年 10 箇所	8 箇所	↑
緑化活動参加者の割合	令和元年 50.6%	令和22年 60.0%	—	—

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である、→：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である、—：計測・活動がなく評価ができない

(団体)



公遊園等清掃協力団体数の推移と目標



【再掲】 市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数の推移と目標

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 少しずつですが、令和元年度から活動団体も増えていきます。今後も活動団体数の維持と増加に努めます。 ● 市民団体との協働による保全活動を8箇所で行い、ボランティア保険への加入、安全講習会の実施、活動に必要な消耗品の提供を行いました。 ● 令和6年度はアンケート未実施のため、緑化活動参加者の割合ははかっています。 	◎

コラム アダプト制度
<p>「アダプト」とは英語で「〇〇を養子にする」という意味であり、「アダプト制度」とは、市民が道路、公園・緑地等、公共施設などを養子にみたくて、愛情をもって面倒をみる（維持管理や清掃活動など）、そして行政がこれを支援する仕組みです。</p> <p>市では、市内の公園・緑地の維持管理についてアダプト制度を推進し、登録団体へ清掃用具の提供、備品の貸し出しや傷害保険の加入、団体の活動広報等の支援をしています。</p>

■ 令和6年度の主な取組

取組6-(1)-① 緑化技術に関する公開講座の開催

▶ 雑木林の管理に向けた講座の実施，雑木林ボランティア講座の実施による人材育成講座の実施（環境政策課）

事業実績

- ◆ 調布に今も残る里山の風景や雑木林を市民と市が協働で保全していくため，窓口・市ホームページ等で広く参加者を集い，ボランティア養成の講座を開催しました。
 - ☞ 雑木林ボランティア講座の開催回数6回（計92人）

▶ 樹木せん定入門講座の実施（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 自宅の庭木等のせん定方法についての講義と実技を通し，市民の緑化に対する理解を含め，技術の習得の一助とするため，開催しました。
 - ☞ 樹木せん定入門講座の実施
 - ☞ 参加者：22人（令和6年10月22日）



樹木せん定入門講座実施の様子

▶ ガーデニング講座の実施（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 自宅でガーデニングを行うための講義と実技を通し，市民の緑化に対する理解を深めるための講座を開催しました。
 - ☞ テーマ：「秋冬に楽しめるガーデニング（寄せ植え）」
「クリスマス，お正月を彩る寄せ植え」
 - ☞ 参加者：19人（令和6年11月30日）
20人（令和6年12月11日）

ガーデニング講座の
季節の寄せ植え



取組6-(1)-② 緑化保全活動への支援

▶ 地区協議会の活動支援（協働推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 18の小学校区で地区協議会が設立（令和6年度末現在）され，各地区が工夫して花植えや地域清掃などの環境美化の取組を実施しました。 ◆ 喫煙マナーアップキャンペーンなど，行政が実施する環境美化の取組への協力がありました。 ◆ 市報等の活用や活動展示の実施等，積極的な広報を行い，市民の緑化活動の促進を図りました。
------	--

▶ 街づくり準備会・協議会の活動支援（まちづくり推進課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づき，街づくり準備会・協議会の支援を行いました。 ◆ 地区計画の検討にあたっては，現存する緑がもたらす住環境への多面的な効用を将来にわたって担保するため，地区施設等への指定や緑化率の制限を導入することなど，地区における緑の創出を図るため，各地区の特性に応じた検討を進めました。
------	--

▶ 【再掲】市民参加による地区計画策定等，良好な街並み形成に向けた活動の支援（まちづくり推進課） P 20 参照

▶ 【再掲】花いっぱい運動の推進（緑と公園課） P 45 参照

▶ 【再掲】公遊園等清掃協力者への助成（緑と公園課） P 39 参照

取組6-(1)-③ アダプト制度の検討

▶ 【再掲】公遊園等清掃協力者への助成（緑と公園課） P 39 参照

▶ 【再掲】樹林・緑地の維持管理活動支援団体の設立支援・育成（緑と公園課） P 44 参照

▶ 【再掲】市民団体による崖線樹林地維持保全活動への支援（緑と公園課） P 39 参照

取組6-(1)-④ 市民・団体・行政間の情報共有・意見交換の機会の創出

▶ 雑木林連絡会の運営支援（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 崖線樹林地保全団体による「協働による保全活動」のための場である雑木林連絡会の運営を支援しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 雑木林連絡会の実施（3回） ☞ 安全講習会の実施（1回） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">令和6年度安全講習会の様子</p>
------	---

▶ 広域的な環境保全活動に向けた他自治体等との連携（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多摩川流域協議会(国土交通省主催)，野川流域連絡会（北多摩南部建設事務所主催），野川流域環境保全協議会（流域自治体），環境マネジメントシステムの内部環境監査の相互監査（昭島・府中市・日野市と連携し実施）に参加し，他自治体等との連携を実施しました。
------	---

▶ 【再掲】地区協議会の活動支援（協働推進課） P 5 7 参照


▶ 【再掲】街づくり準備会・協議会の活動支援（まちづくり推進課） P 5 7 参照

取組6-(1)-⑤ 市民の緑化活動を総合的にサポートする仕組みの検討

▶ 協働による緑の保全のための仕組みづくりの検討（緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 雑木林連絡会で情報交換を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 開催回数 3回 ◆ ホームページにて協働団体のPRをしました。
------	--

▶ 市民団体等への環境保全活動の拠点となる場の提供（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 佐須農（みのり）の家を，深大寺・佐須地域の環境保全活動の拠点となる場として市民に貸し出しをしました。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>佐須農(みのり)の家</p> </div>
------	--

施策6－（2）水と緑をそだてる意識づくり

市民が一体となって緑の保全・活用に参加できるイベントや緑に関する意識啓発のためのイベントを開催し、緑に関する市民活動同士の情報共有や一般市民の交流機会の創出を図るとともに、こうした市民活動を評価する場としての活用を図り、緑化に対する機運を高めます。

また、学校教育においては、緑のカーテンやビオトープといった設備や環境学習、給食での地産地消の取組等を通じて、緑の保全・活用に向けた意識醸成を図ります。

■ 施策の指標

指標	現状値	目標値	令和6年度実績値	進捗状況
緑化活動参加者の割合【再掲】	令和元年 50.6%	令和22年 60.0%	—	—
緑に関する満足度	令和元年 69.3%	令和22年 80%	—	—

【凡例】 ↑：目標値の達成に向けて好調な推移である， →：目標値の達成に向けて安定した数値である
↓：目標値の達成に向けて低調な推移である， —：計測・活動がなく評価ができない

令和6年度の振り返り	評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 令和6年度はアンケート未実施のため、緑化活動参加者の割合ははかっていません。 ● 令和6年度はアンケート未実施のため、満足度ははかっていません。 	—

コラム 調布市環境フェア

「調布市環境フェア」は、各団体・事業者・行政等が環境に関する情報を発信することで、来場される方々の環境問題への関心を喚起し、環境意識の醸成を図ることを目的に、市が開催しています。

令和6年度は市役所前庭で開催し、延べ約4,400人の方が来場されました。

会場では、子どもから大人まで楽しむことができる工作体験、リサイクル品・展示品の販売、環境保全に関するパネル等の展示、抽選で野菜が当たるキーワードラリーなども行いました。

告知ポスター



■ 令和6年度の主な取組



取組6-(2)-① 市民が一体感を感じる緑化イベントの開催

▶ 幅広い市民を対象とした環境イベントの開催（環境政策課 緑と公園課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第52回調布市環境フェアを調布市駅前広場で開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 開催日 6月8日 ☞ 参加人数 延べ約4,400人 ◆ Zoom等を活用したオンラインイベントを実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ オンライン環境学習教材の配信 ☞ 小学生を対象にした気候変動を絡めた環境学習教材をオンライン（YouTubeチャンネル等）で年1回配信
------	---

▶ 環境フェアの実施（環境政策課）

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民・事業者・行政等が環境に関する情報を発信することで、来場者の環境問題への関心を喚起し、環境意識の醸成を図ることを目的に開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 日時 6月8日（土）午前10時～午後3時 ☞ 会場 調布市役所前庭 ☞ 出展団体 全22団体 ☞ 参加者数 延べ約4,400人
------	--

令和6年度環境フェアの様子

コラム おもてなしガーデン

おもてなしガーデンは、ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック競技大会で、調布を訪れる人を迎えるために調布駅周辺に設置した花壇です。調布駅前広場の整備工事に伴い終了しました。記念事業として、多年草は市内公園の花壇へ移し、新しい場所で活用しています。



飛田給駅・西調布駅・調布駅周辺花いっぱい事業

▶ 緑と花の祭典の実施（緑と公園課）

事業実績

- ◆ 市民が緑と花に親しむ機会を設け、緑化推進の一環として実行委員会形式で春季と秋期の土日祝に行うイベントを開催しています。
 - ☞ 緑と花の祭典（春）は、4月27日（土）、28日（日）の2日間で開催
 - ☞ 緑と花の祭典（秋）は、10月26日（土）、27日（日）の2日間で開催



令和6年度緑と花の祭典の様子

▶ ふれあいのみちづくり事業の推進（道路管理課）

事業実績

- ◆ 市道等の適正な維持管理及び美化の推進を図り、地域コミュニティの活性化に貢献するため、市と市民が協働して、市道、水路、けい畔その他特定の公共空間における清掃等の維持管理活動を実施しました。
 - ☞ 認定団体数、構成人員 17団体、231人

▶ 【再掲】花いっぱい運動の推進（緑と公園課）

P 4 5 参照

コラム 緑と花の祭典

調布市緑と花の祭典は市内の緑化推進の啓発と普及のため、緑と花の祭典実行委員会により毎年春と秋に開催しています。

令和6年度に開催された緑と花の祭典では、花や植木、植木鉢の販売のほか、緑の相談窓口、竹細工、竹を使ったドライフラワーアレンジ体験、高所作業車の乗車体験、坪庭の展示などを行い、盛況のうちに終了しました。



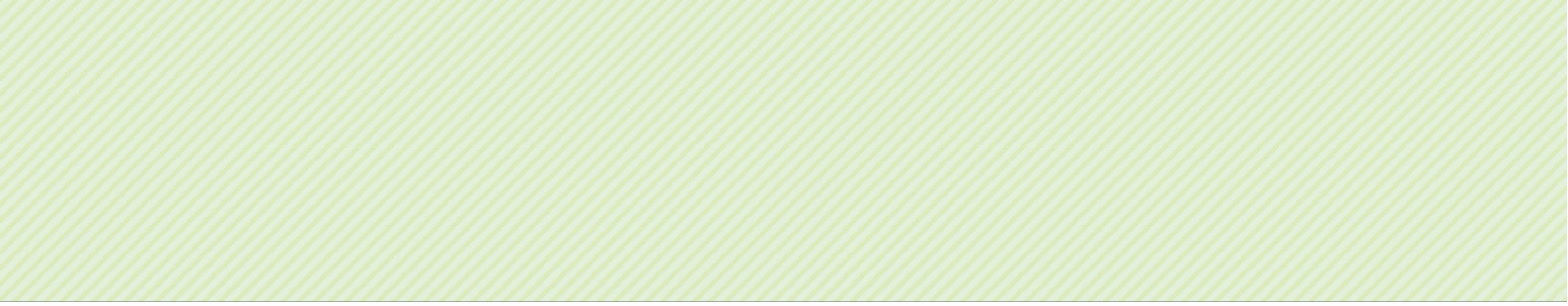
緑と花の祭典の様子

取組6-(2)-② 環境学習の推進【再掲】

- ▶ 【再掲】 里山を活かした体験学習
プログラムの実施（環境政策課・緑と公園課） P 5 1 参照
- ▶ 【再掲】 里山に関する環境学習の推進（環境政策課・緑と公園課） P 5 1 参照
- ▶ 【再掲】 S D G s を含む環境に関する学習機会の提供（指導室） P 5 1 参照
- ▶ 【再掲】 自然体験型環境教育の推進（指導室） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 多摩川自然情報館を中心とした市内環境学習関連施設や
社会教育施設における環境学習事業の推進（環境政策課・公民館） P 3 0 参照
- ▶ 【再掲】 環境学習プログラム・教材の提供（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 深大寺・佐須地域の環境資源を活用した市民
との協働による環境学習事業の推進（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 多摩川自然情報館におけるオンラインイベント、
月別イベント等の実施（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 小中学生等への環境活動機会の提供（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 調布こどもエコクラブでの環境保全・
調査活動の実践（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 都立農業高校・相互友好協力協定大学との
連携による環境学習の推進（環境政策課） P 5 2 参照
- ▶ 【再掲】 環境活動交流会の開催（環境政策課） P 5 3 参照

取組6-(2)-③ 食育の推進【再掲】

- ▶ 【再掲】 農家と学校のマッチング等による
学童・学校農園の推進（農政課・指導室） P 3 4 参照
- ▶ 【再掲】 食育に取り組む学校・保育所等への支援及び農業体験等の食育の取組を希望
する学校・保育所等への支援を検討（学務課・保育課） P 3 5 参照
- ▶ 【再掲】 給食食材への地場産野菜・
果物の利用拡大（学務課・保育課） P 3 5 参照



令和6年度調布市緑の基本計画年次報告書

発行：東京都調布市 令和8年3月 所管：環境部 緑と公園課
〒182-8511 東京都調布市小島町2丁目35番地1 電話 042(481)7083

登録番号 (刊行物番号)
2025-251